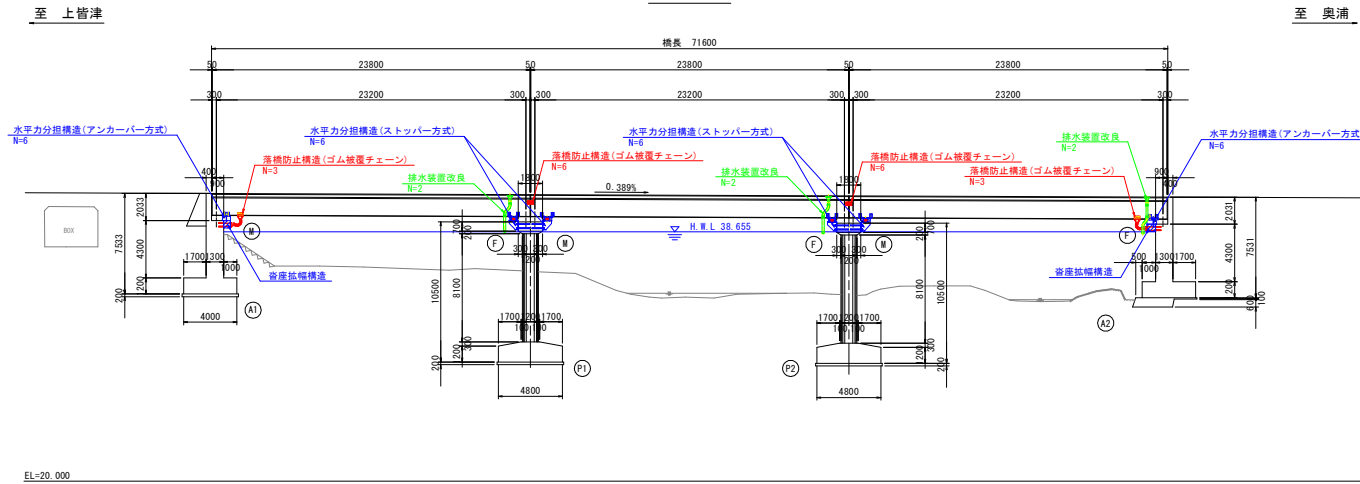


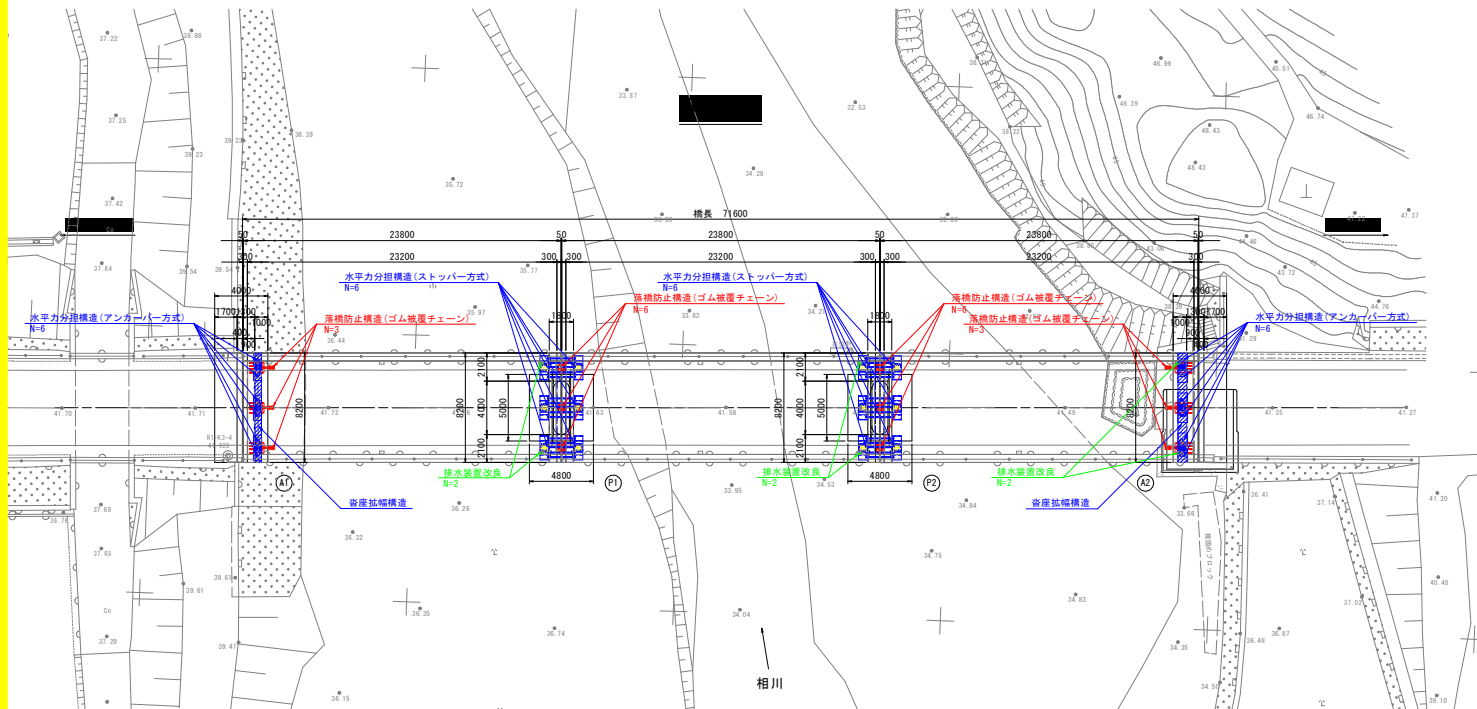
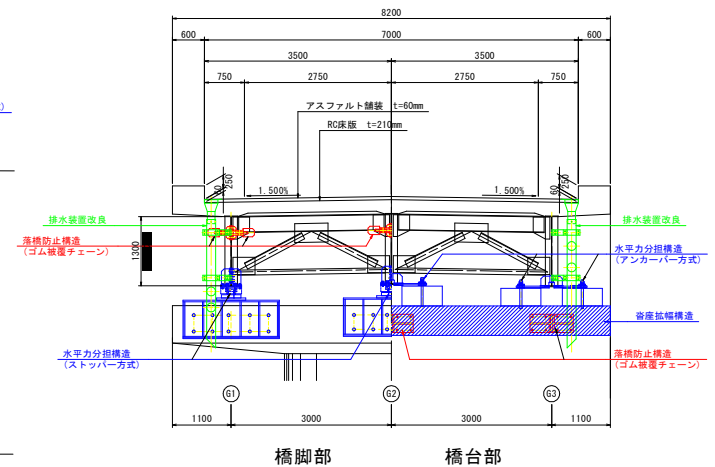
耐震補強橋梁一般図 S=1:200

落橋防止システム

側面図



断面図 S=1:50



設計条件			
道路区分	第3種第4級、設計速度30km/h		
橋格	1等橋 (TL-20)		
形式	上部工	単純支持荷重合成鋼板桁	
	下部工	逆T式橋台 張出式橋脚	
橋長	71,600m		
支間長	23,200m		
幅員	車道	7,000m	
	歩道	-	
平面線形	直線		
床版厚係数	1.05		
大型車交通量	500台未満 台/日/1方向		
床版厚	210mm		
設計震度	橋台kh=0.20、橋脚kh=0.20		
コンクリートの設計基準強度	上部工	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	
	下部工	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	
許容応力度	上部工	コンクリート	$\sigma_{sa}=8.0\text{N/mm}^2$
		鉄筋	$\sigma_{sa}=140\text{N/mm}^2$
	下部工	コンクリート	$\sigma_{sa}=7\text{N/mm}^2$
		鉄筋	$\sigma_{sa}=160\text{N/mm}^2$
計画高水流量	0~370m ³ /s		
計画高水位	H.W.L.=38.655m		

補強設計	
落橋防止構造	橋台部 ゴム被覆チェーン(上下部工連結構造) 橋脚部 ゴム被覆チェーン(上部工連結構造)
水平力分担構造	橋台部 アンカーバー方式、容座拡張構造 橋脚部 ストッパー方式
既設構造改良	A2橋台 排水装置改良 橋脚部 排水装置改良
適用示方書	平成24年 道路橋示方書・同解説

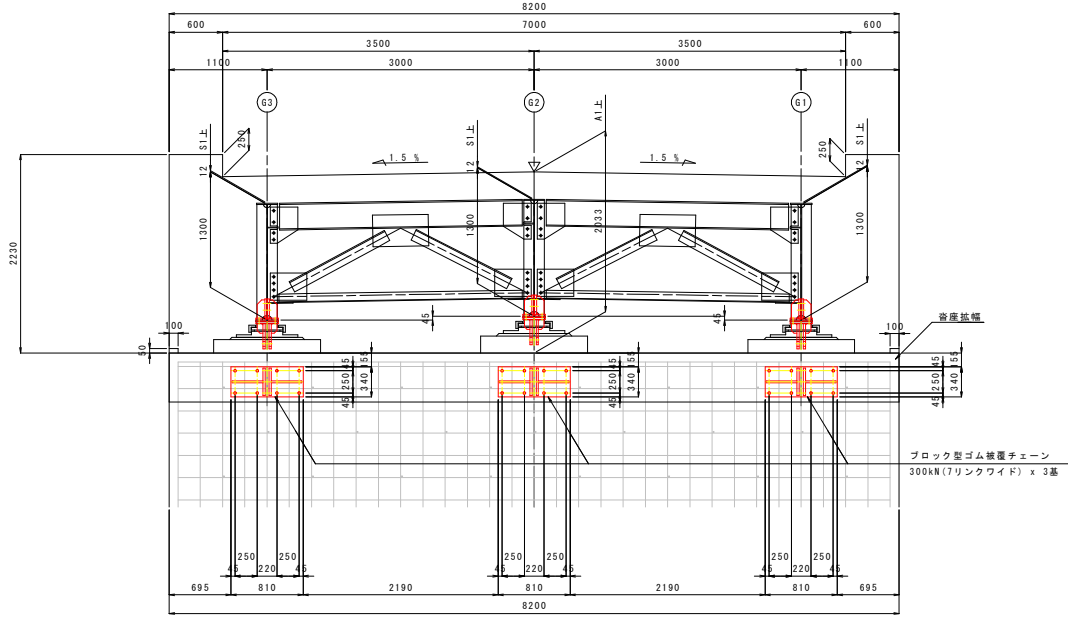
当初設計図面
工事名 R8波土上皆津奥浦線(日浦橋)
海・相川 橋梁耐震補強工事
路線名等 (一) 上皆津奥浦線
工事箇所 海部郡海陽町相川(日浦橋)
図面名 耐震補強橋梁一般図
縮尺 図示 図面番号 1/26
会社名
事業者名 徳島県美波県土整備事務所

落橋防止構造配置図(その1) S=1:30

A1橋台

正面図

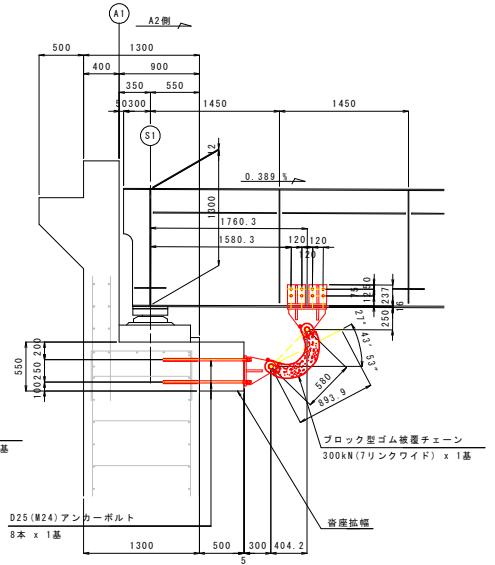
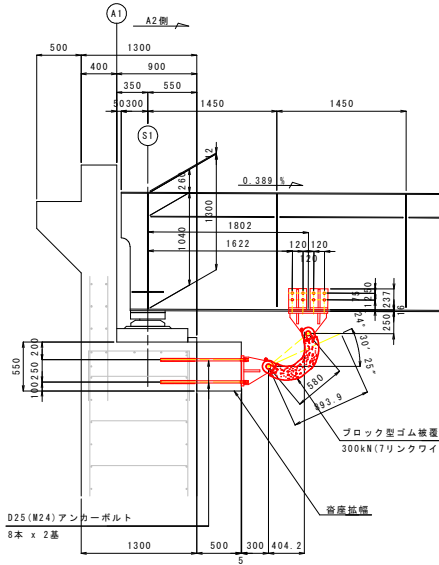
A - A



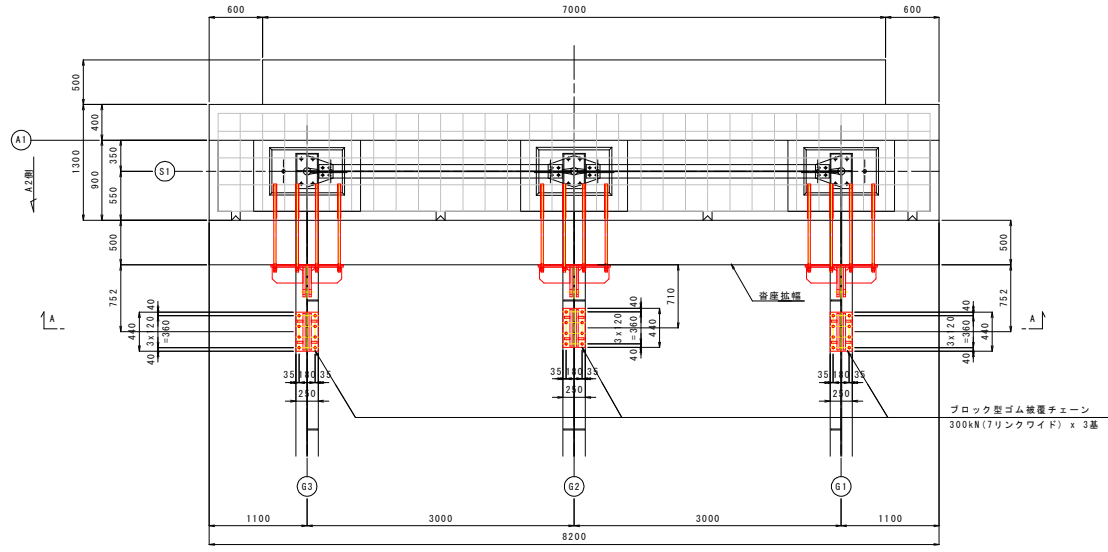
側面図

G1, G3部

G2部



平面図



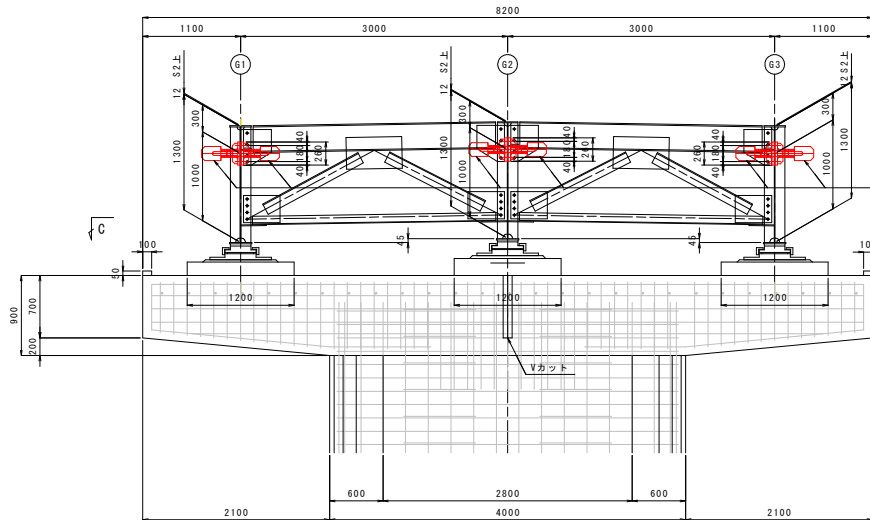
注記

1. 既設構造物の寸法は、現地にて再計測の上、施工を行うこと。
2. 鋼材の加工は、現橋の調査及び計測を行い、構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 補強方法を変更する場合は、必要に応じて応力計算を行うこと。

当初設計図面

工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋) 海・相川 橋梁耐震補強工事		
路線名等	(一) 上皆津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川(日浦橋)		
図面名	落橋防止構造配置図(その1)		
縮尺	1:30	図面番号	2/26
会社名	徳島県美波波土整備事務所		
事業者名	徳島県美波波土整備事務所		

A - A



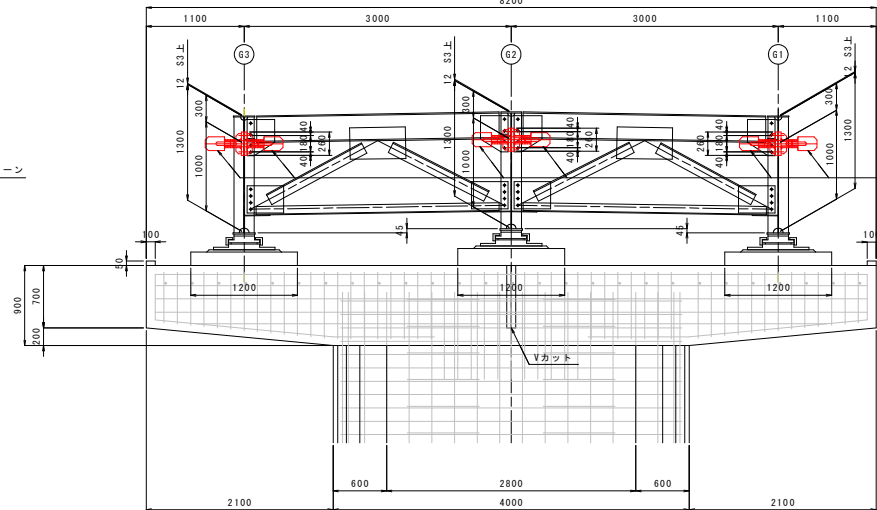
ブロック型ゴム被覆チェーン
300kN(5リンク) x 6基

落橋防止構造配置図(その2) S=1:30

P1橋脚

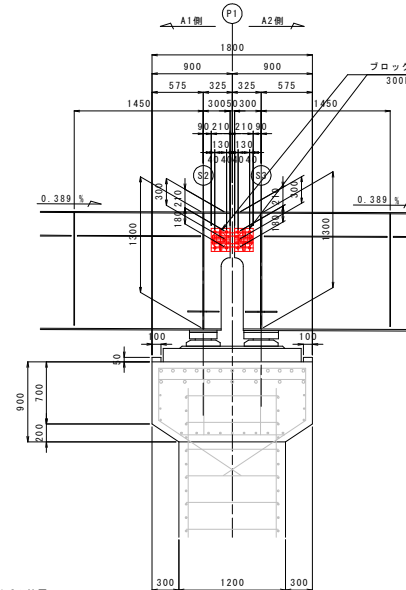
S3側正面図

B - B

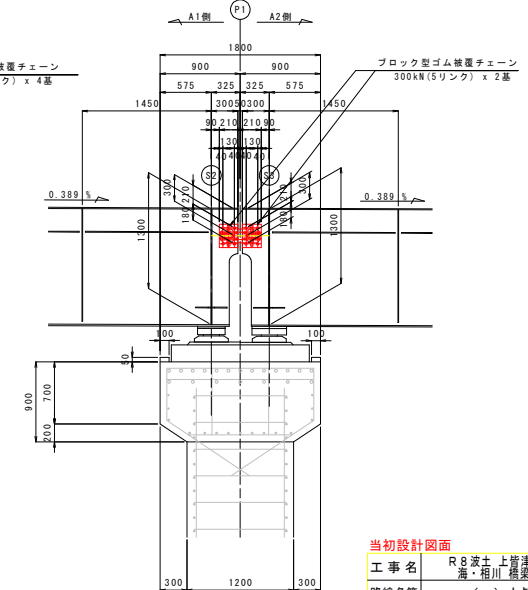


側面図

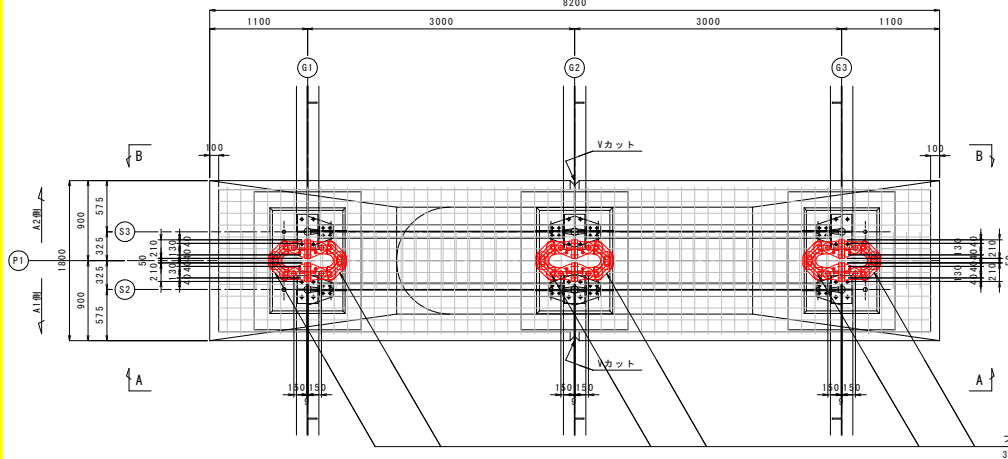
G1, G3部



G2部



C - C



注意

1. 既設構造物の寸法は、現地にて再計測の上、施工を行うこと。
2. 鋼材の加工は、現橋の調査及び計測を行い、構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 補強方法を変更する場合は、必要に応じて応力計算を行うこと。

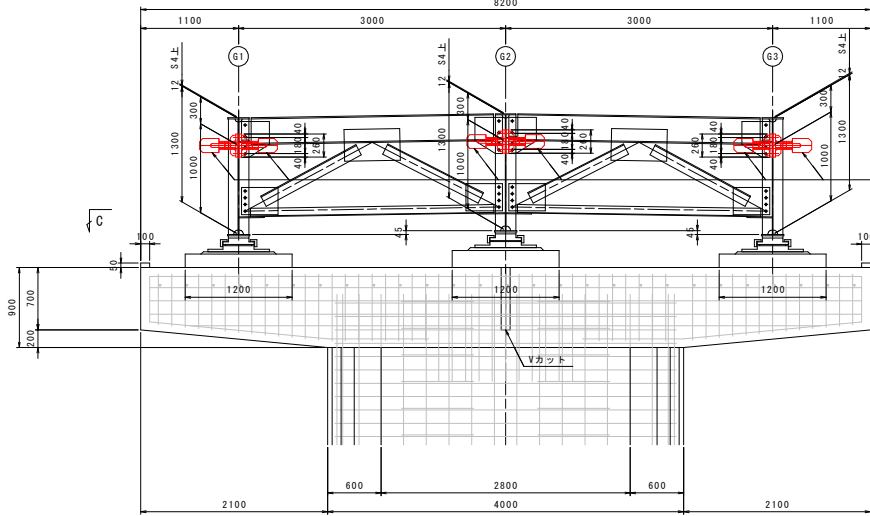
当初設計図面

工事名	R8波土上皆津奥浦橋(日浦橋) 海・相川橋架設工事		
路線名等	(一)上皆津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川(日浦橋)		
図面名	落橋防止構造配置図(その2)		
縮尺	1:30	図面番号	3/26
会社名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

落橋防止構造配置図(その3) S=1:30

S4側正面図

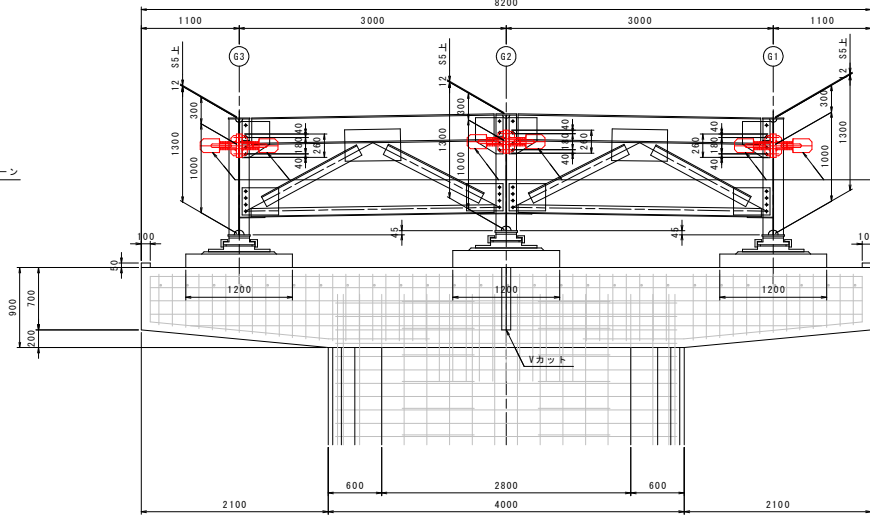
A - A



P2橋脚

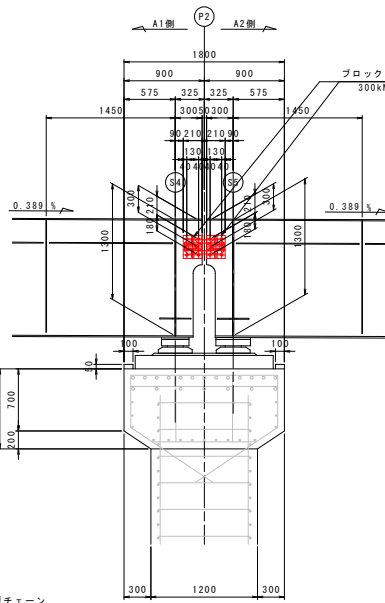
S5側正面図

B - B

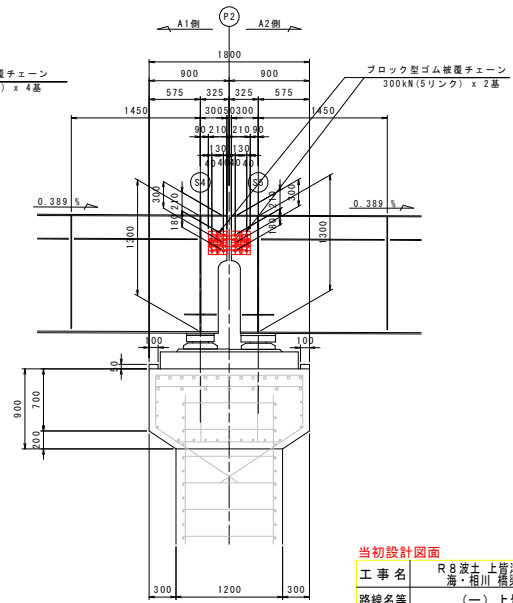


側面図

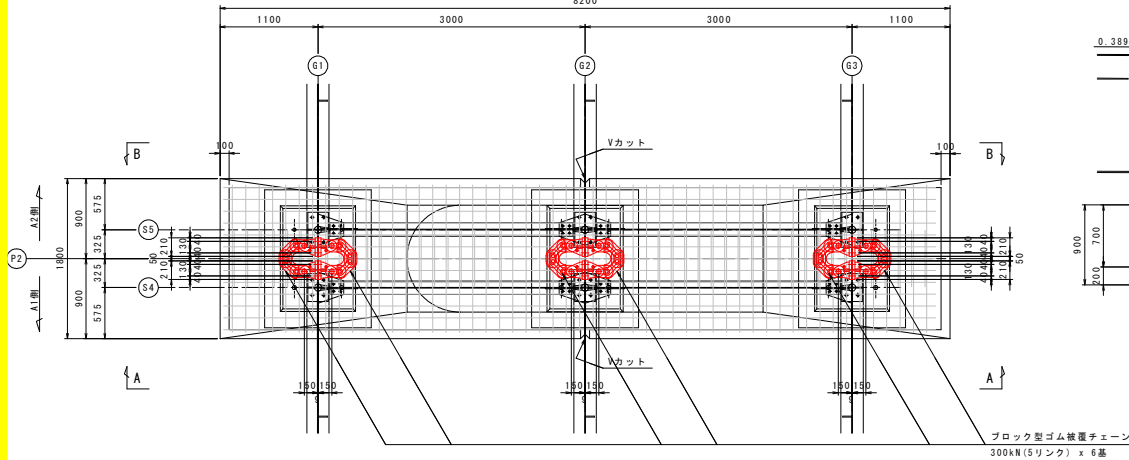
G1, G3部



G2部



C - C



注記

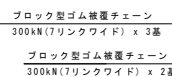
1. 既設構造物の寸法は、現地にて再計測の上、施工を行うこと。
2. 鋼材の加工は、現場の調査及び計測を行い、構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 補強方法を変更する場合は、必要に応じて応力計算を行うこと。

当初設計図面

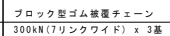
工事名	R8波土 上津湊浦線(日浦橋) 海・相川 橋梁耐震補強工事		
路線名等	(一) 上津湊浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川 (日浦橋)		
図面名	落橋防止構造配置図(その3)		
縮尺	1:30	図面番号	4/26
会社名	徳島県美波県土整備事務所		
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

A2橋台

A - A



7000

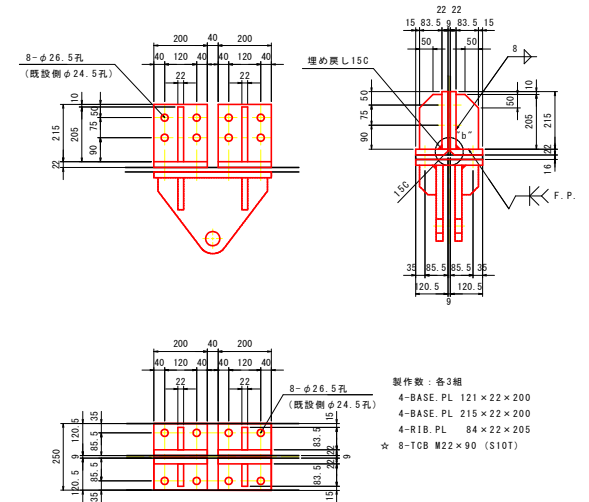
[illegible]

1. 既設構造物の寸法は、現地にて再計測の上、施工を行うこと。
2. 鋼材の加工は、現橋の調査及び計測を行い、構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 補強方法を変更する場合は、必要に応じて応力計算を行うこと。

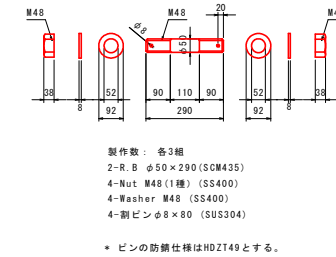
工事名	R8波土上皆津美浦線(日浦橋) 海・相川橋架設補強工事		
路線名等	(一)上皆津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町奥浦(日浦橋)		
図面名	落橋防止構造配置図(その4)		
縮尺	1:30	図面番号	5/26
会社名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

上部工付ブラケット

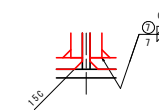
主桁補強材詳細



ピン詳細図



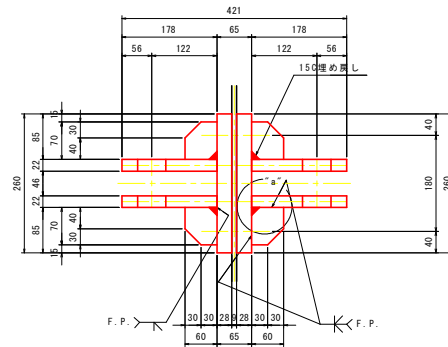
“b”部詳細 S=1:5



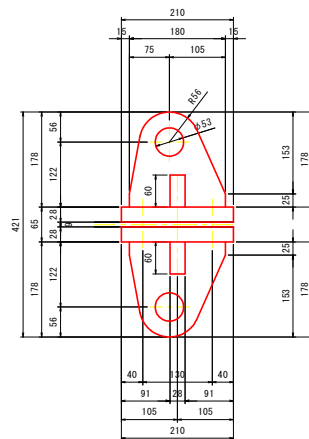
当初設計図面		
工事名	R8 波土上皆津奥浦線(日浦橋) 海・相川橋梁附属構造物工事	
路線名等	(一) 上皆津奥浦線	
工事箇所	海部郡海陽町相川(日浦橋)	
図面名	落橋防止構造詳細図(その1)	
縮 尺	1:10	図面番号 6 / 26
会 社 名		
事業者名	徳島県美波県土整備事務所	

P1, P2橋脚

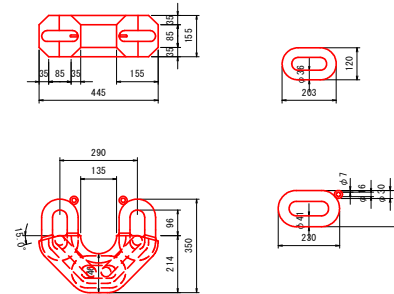
B - B



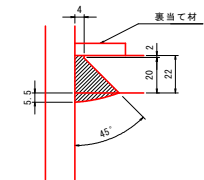
A - A



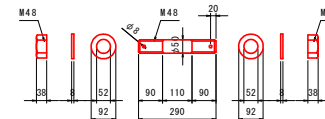
300kN 【5リンク】



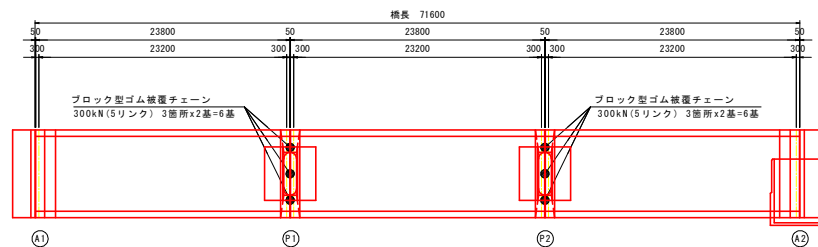
- ### "a"部詳細図



ピン詳細



配置図 S=1:250



工事名	R8波土上皆津奥浦橋(日浦橋) 海・相川橋梁架設強化工事		
路線名等	(一)上皆津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川(日浦橋)		
図面名	落橋防止構造詳細図(その2)		
縮尺	1:10	図面番号	7/26
会社名			
事業者名	徳島県東波県土整備事務所		

水平力分担構造配置図(その1) S=1:30

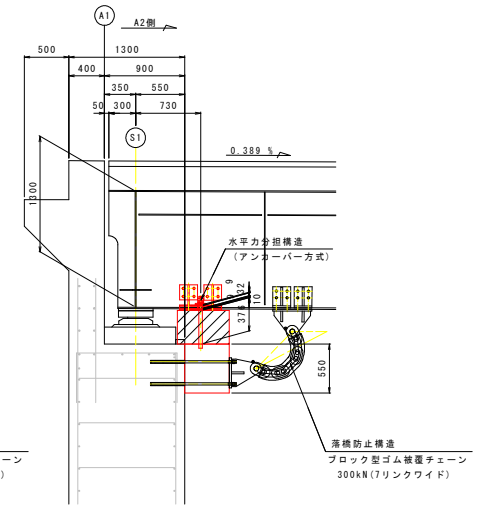
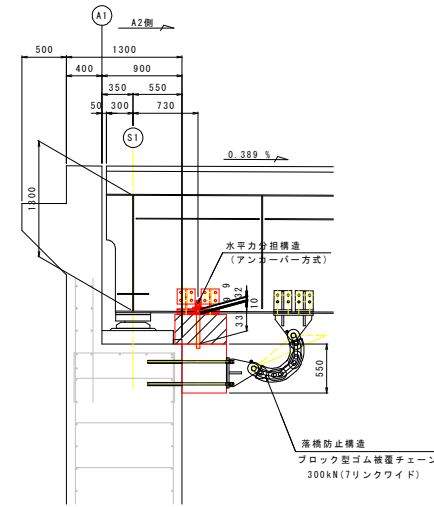
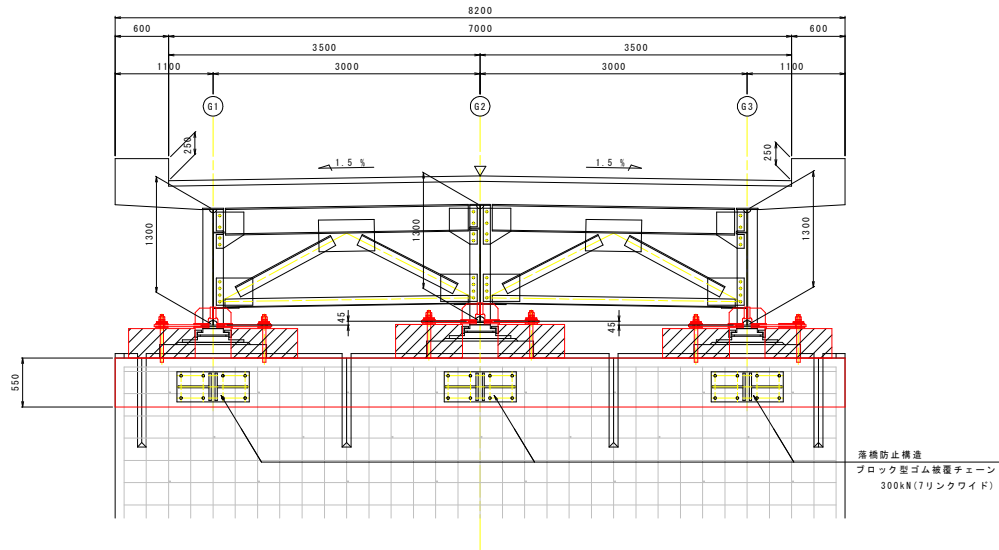
正面図

A1橋台

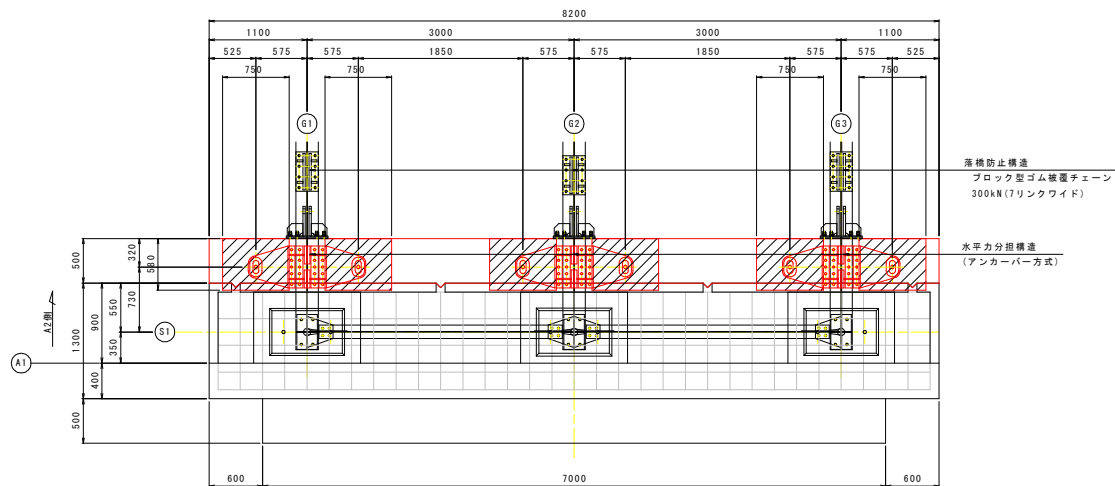
側面図

G1, G3部

G2部



平面図

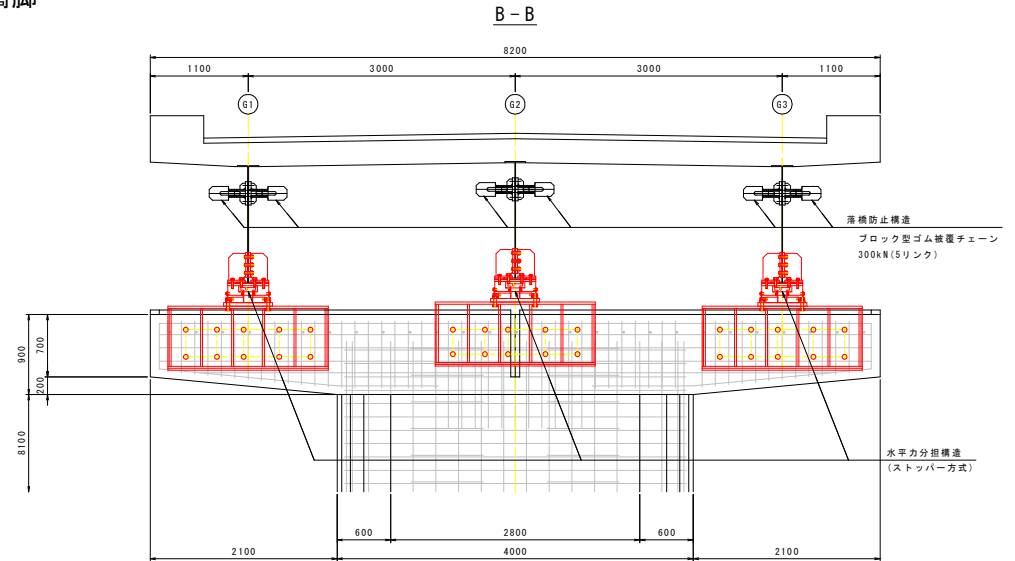
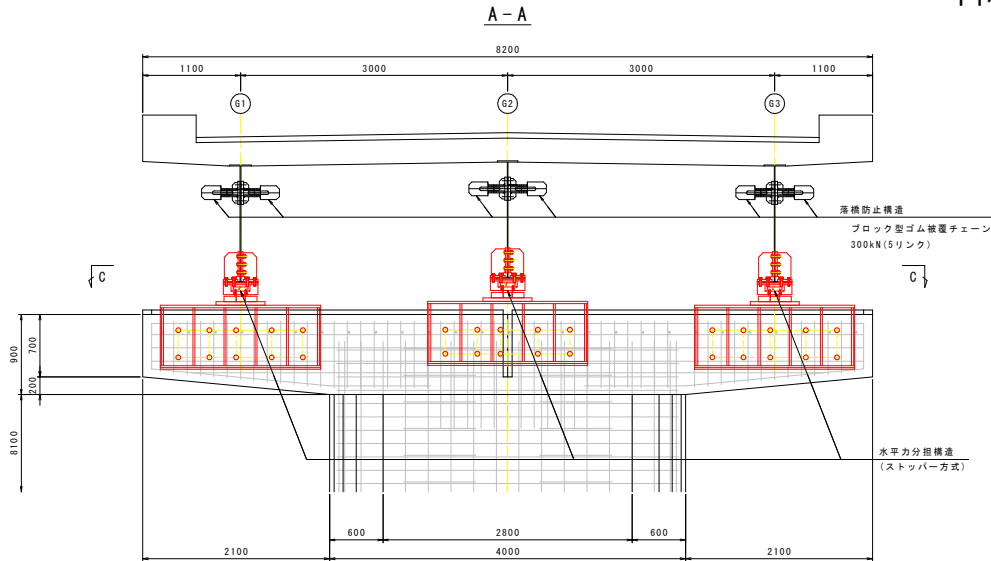


- 注記
1. 既設構造物の寸法は、現地にて再計測の上、施工を行うこと。
 2. 鋼材の加工は、現場の調査及び計測を行い、構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 補強方法を変更する場合は、必要に応じて応力計算を行うこと。

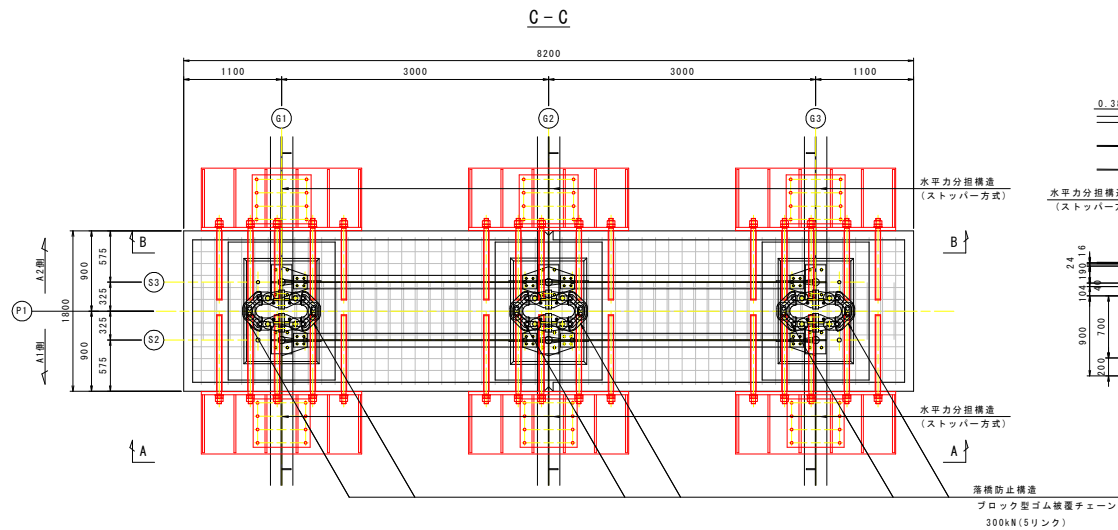
当初設計図面	
工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋) 海・相川 橋梁耐震補強工事
路線名等	(一) 上皆津奥浦線
工事箇所	海部郡海陽町相川 (日浦橋)
図面名	水平力分担構造配置図(その1)
縮尺	1:30 図面番号 8/26
会社名	
事業者名	徳島県美波県土整備事務所

水平力分担構造配置図(その2) S=1:30

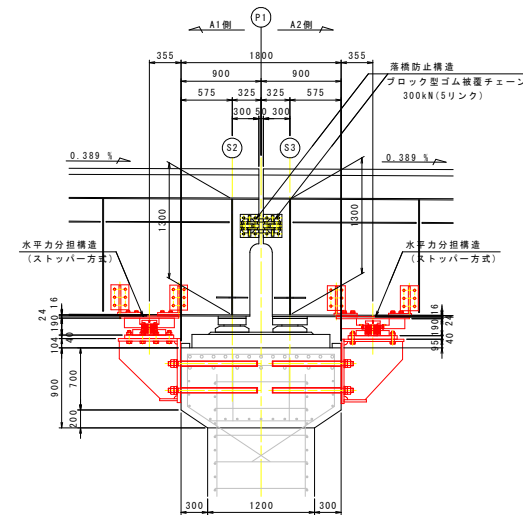
P1橋脚



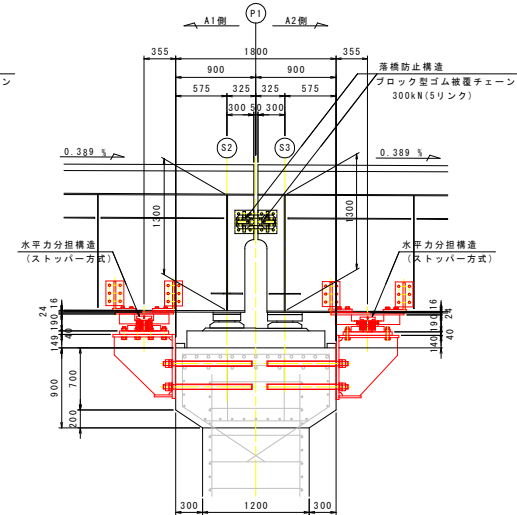
側面図



G1, G3部



G2部

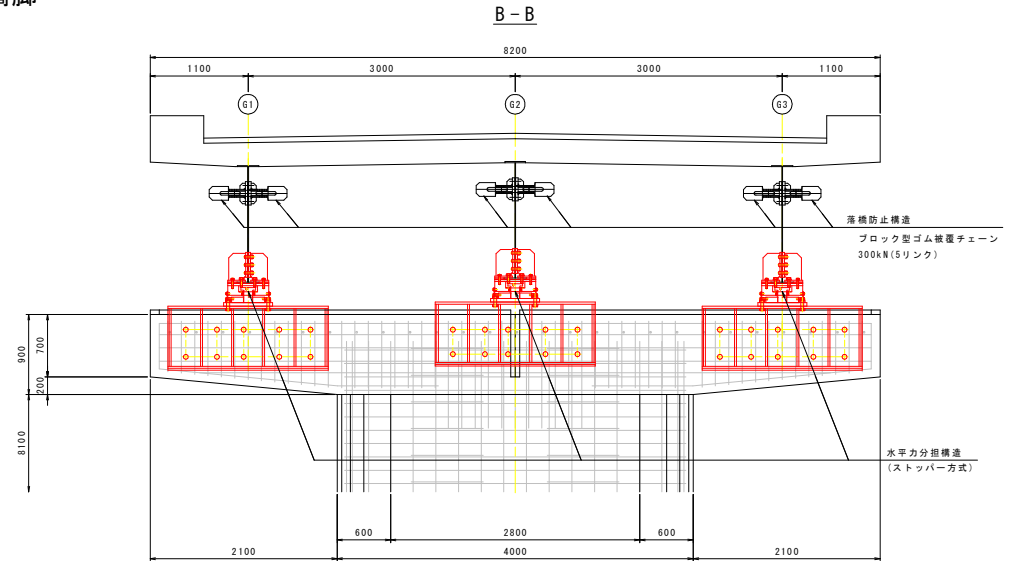
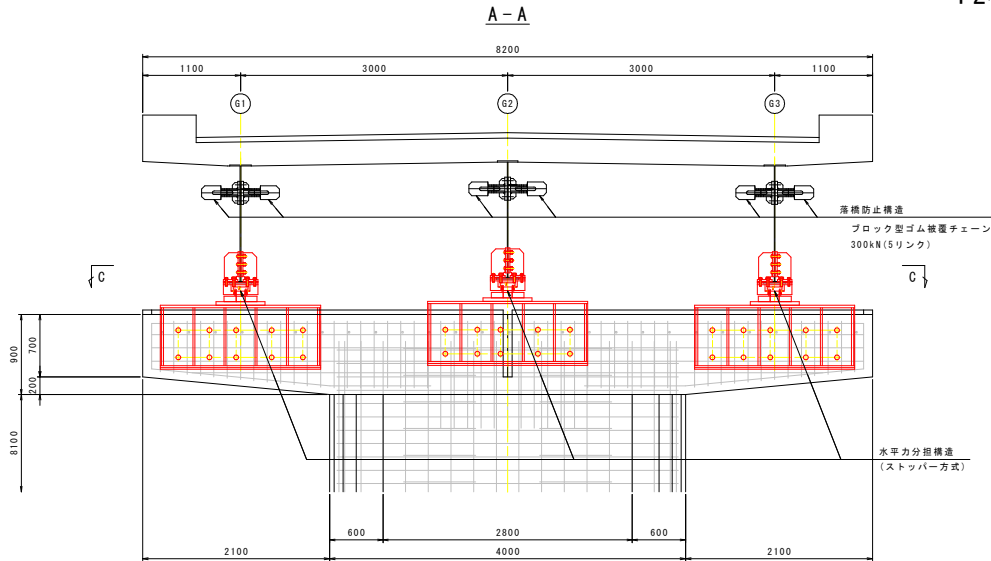


- 注記
1. 既設構造物の寸法は、現地にて再計測の上、施工を行うこと。
 2. 鋼材の加工は、現場の調査及び計測を行い、構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 補強方法を変更する場合は、必要に応じて応力計算を行うこと。

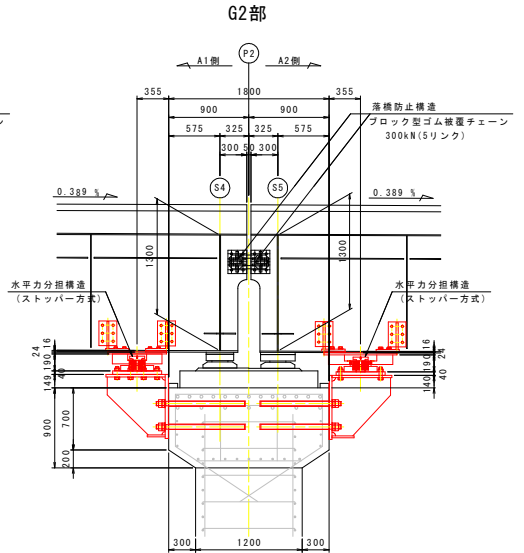
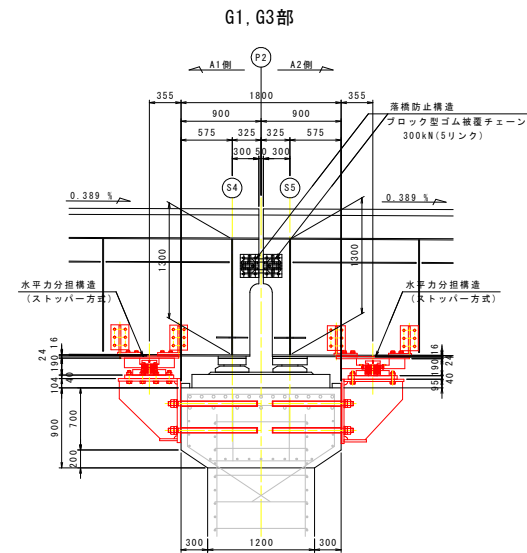
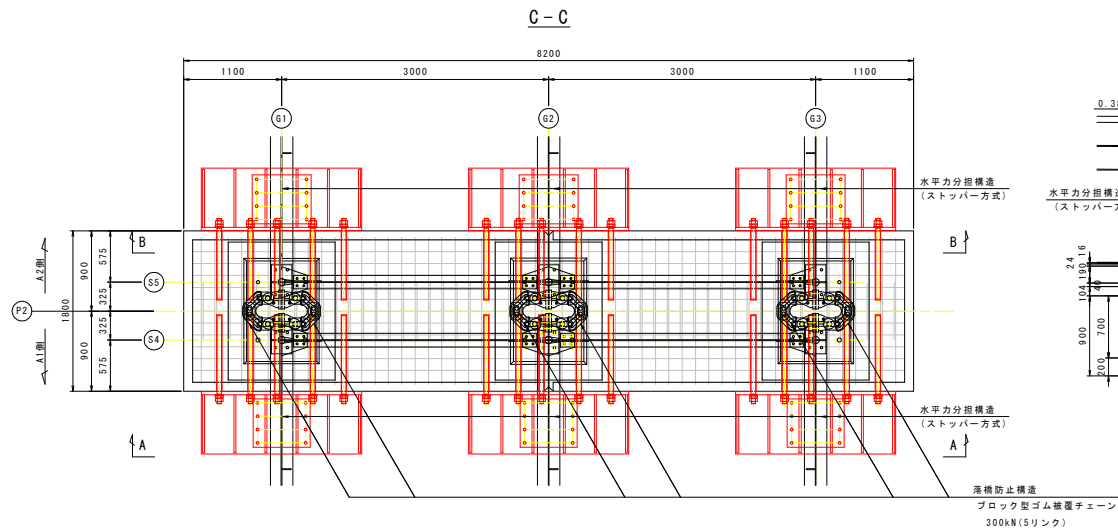
当初設計図面	
工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋)
路線名等	海・相川 橋梁耐震補強工事
工事箇所	(一) 上皆津奥浦線
図面名	海部郡海陽町相川(日浦橋)
縮尺	水平力分担構造配置図(その2)
縮尺	1:30 図面番号 9/26
会社名	
事業者名	徳島県美波県土整備事務所

水平力分担構造配置図(その3) S=1:30

P2橋脚



側面図



注記

1. 既設構造物の寸法は、現地にて再計測の上、施工を行うこと。
2. 鋼材の加工は、現橋の調査及び計測を行い、構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 補強方法を変更する場合は、必要に応じて応力計算を行うこと。

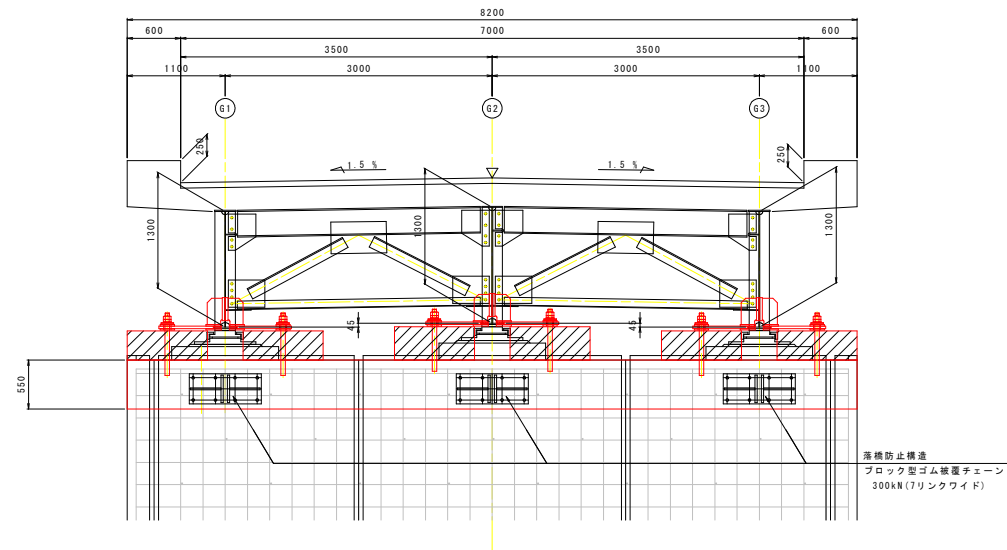
当初設計図面

工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋)
路線名等	海・相川 橋梁耐震補強工事 (一) 上皆津奥浦線
工事箇所	海部郡海陽町相川(日浦橋)
図面名	水平力分担構造配置図(その3)
縮尺	1:30 図面番号 10/26
会社名	徳島県美波県土整備事務所

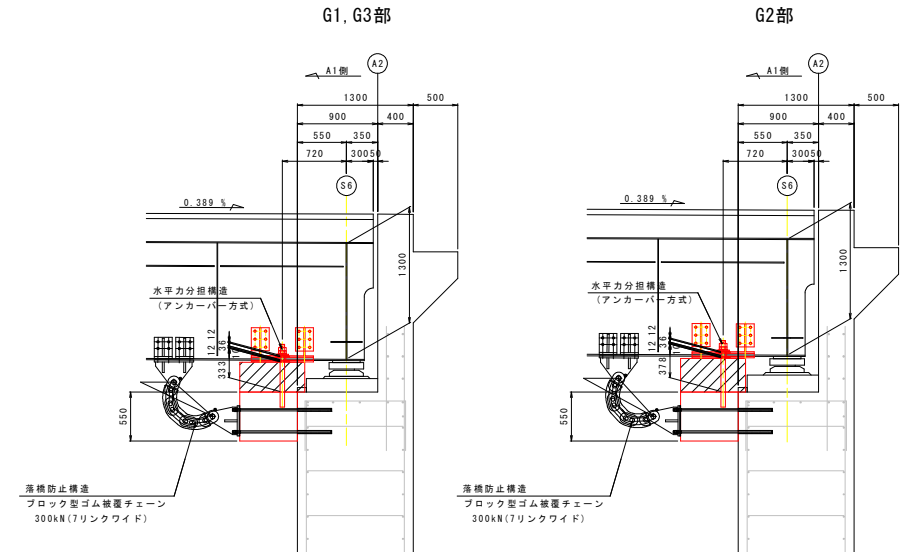
水平力分担構造配置図(その4) S=1:30

A2橋台

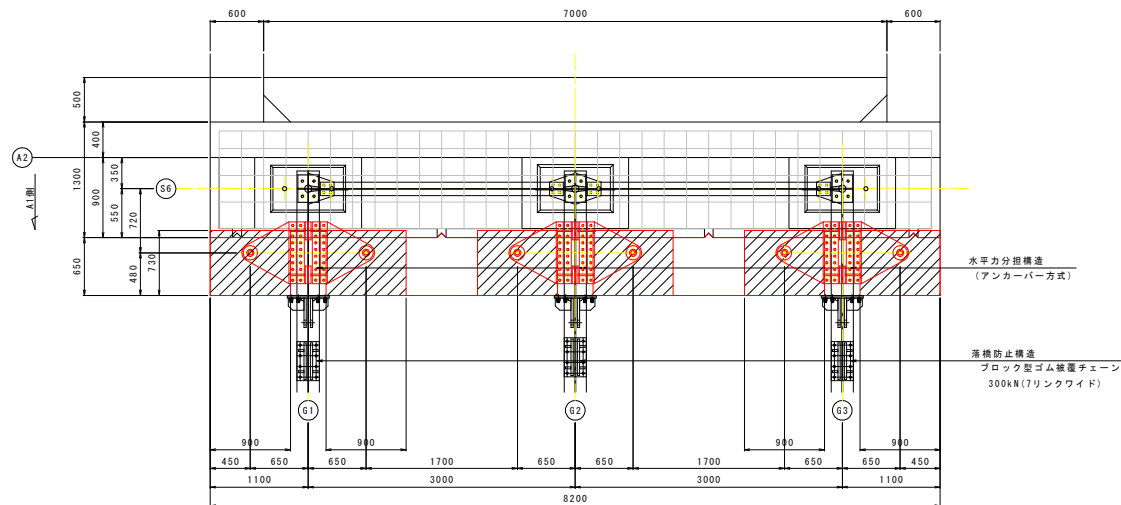
正面図



側面図



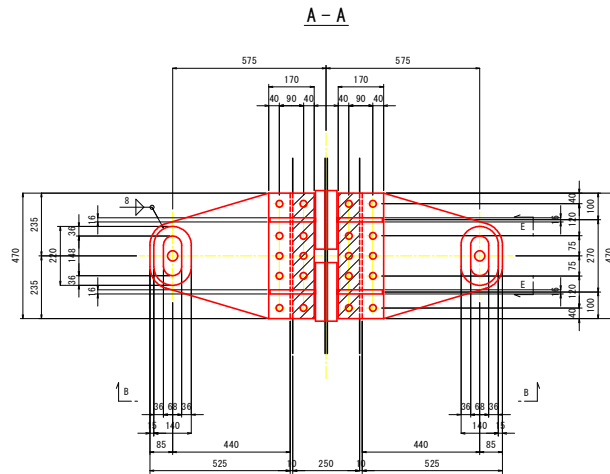
平面図



- 注記
1. 既設構造物の寸法は、現地にて再計測の上、施工を行うこと。
 2. 鋼材の加工は、現橋の調査及び計測を行い、構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 3. 補強方法を変更する場合は、必要に応じて応力計算を行うこと。

当初設計図面	
工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋)
路線名等	海・相川 橋梁耐震補強工事
工事箇所	(一) 上皆津奥浦線
図面名	海部郡海陽町相川(日浦橋)
縮尺	図面番号 11/26
会社名	水平力分担構造配置図(その4)
事業者名	徳島県美波県土整備事務所

A1橋台 G1桁, <G2桁>, G3桁

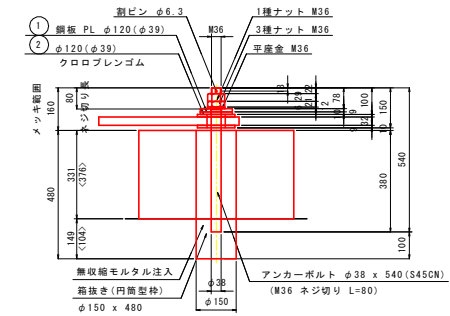


材 料

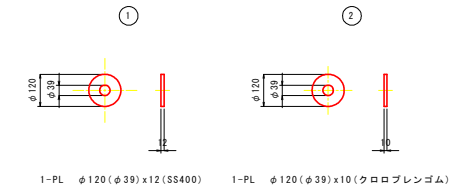
製作数 : 3

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| ※ 2-Top PL 470x32x 525 | ※ 2-縦型ピン φ38 x 540(S45CN) |
| ※ 4-Gov PL 140x12x 220 | ※ 2-Nut M36(S5400)(1種) |
| ※ 4-Spl PL 170x12x 470 | ※ 2-Nut M36(S5400)(3種) |
| ※ 2-F11L 80x16x 470(S5400) | ※ 2-Washer M36(S5400) |
| ☆ 20-TOB M22 x 95(S10T) | ※ 2-割ピン φ6.3 x 63(S30M8) |
| ※ 4-Web PL 170x36x 220(S3000B) | ① 2-PL φ120(φ39)x12(S5400) |
| ※ 4-Rib PL 170x16x 215 | ② 2-PL φ120(φ39)x10(クロロベンゾム) |
| ☆ 8-TOB M22 x 120(S10T) | |

アンカーボルト詳細



① ②詳細図

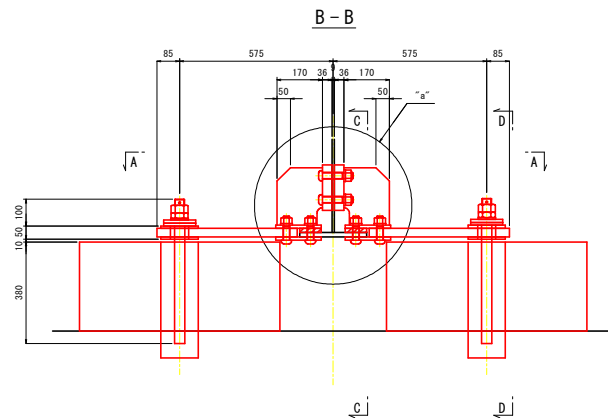


注記

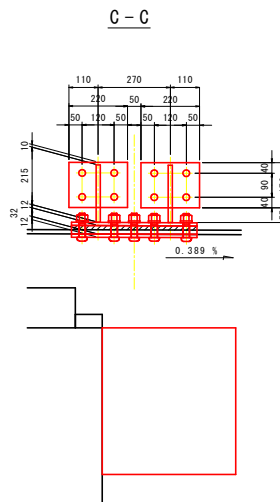
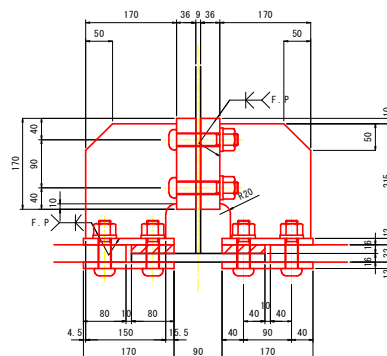
- 1. 特記なき鋼材の材質は全てS400Aとする。
- 2. 印記なきカーブは全て40Rとする。
- 3. 印記は、1/8吋型高力ボルトM22 (S10T) を示す。
- 4. 新規鋼材のボルト孔は $\phi 26.5$ とし、既設部材への現規模孔引けは $\phi 24.5$ とする。
- 5. 寸法のないR形部道の表示ある箇所は、完全溶込み接合を用いることとする。
- 6. 既設構造物の寸法は現地にて再測計の上、施工を行うこととする。
- 7. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこととする。
- 8. 付帯部材は、全て溶接部品とメッキとする。
- 9. ※印の量は、JIS H 8641 H27T777とする。
- 10. ただし、ボルト・ナットは付帯量は H27T49とする。
- 11. ※印の108 M22 (S10T) は、メッキ塗装とする。

当初設計図面

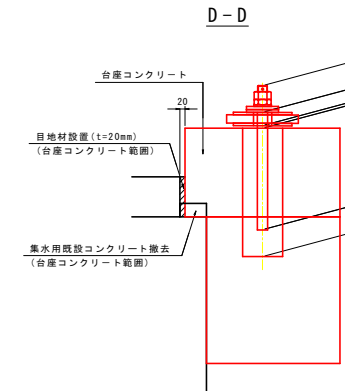
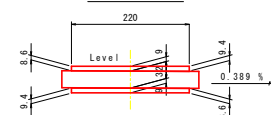
工事名	R8 波土上皆津奥浦線(日浦橋) 高・相川橋梁新架橋工事		
路線名等	(一) 上皆津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川(日浦橋)		
図面名	水平力分担構造詳細図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	12 / 26
会社名			
事業者名	徳島県東波束土整備事務所		



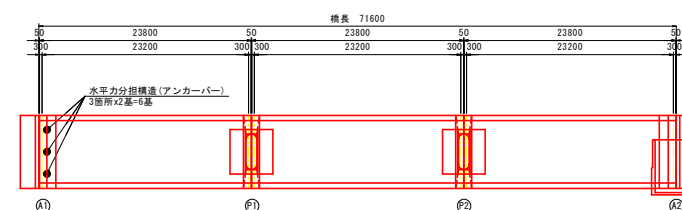
“a”部詳細図 S=1:5



E - E S=1:5

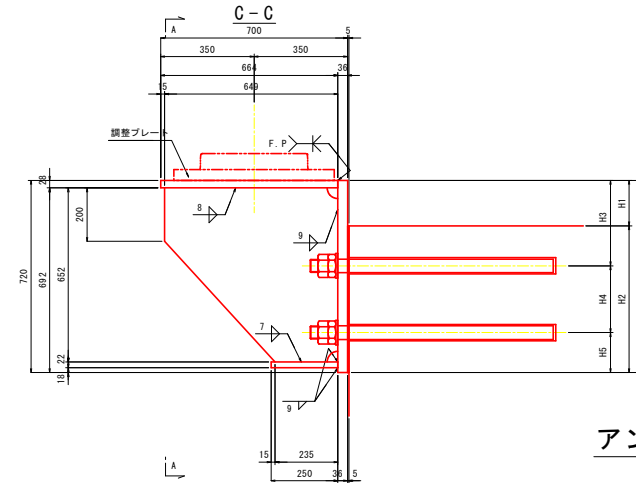
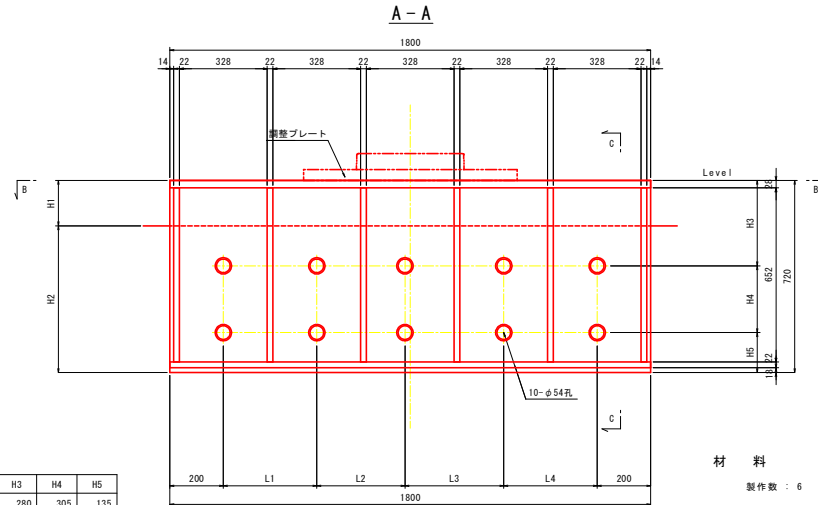


配置図 S=1:300



水平力分担構造詳細図(その2) S=1:10

P1, P2橋脚 起点側 下部エブラケット

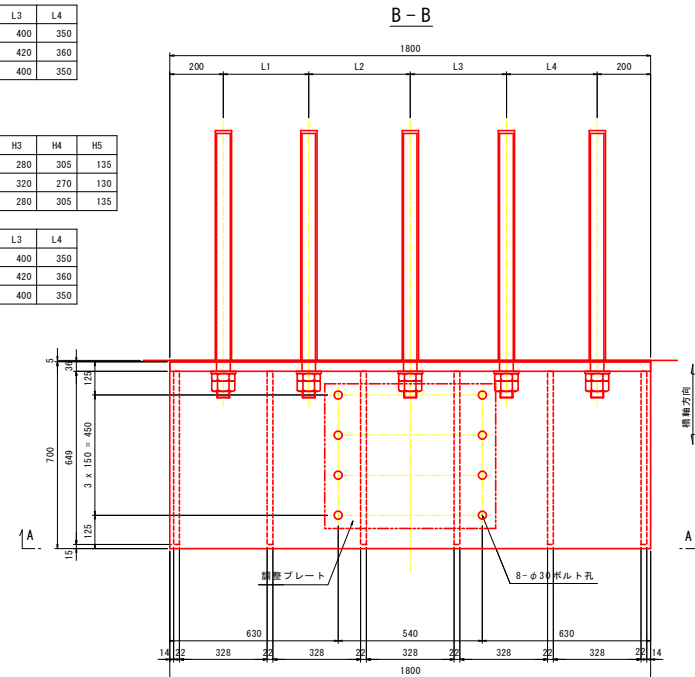


		H1	H2	H3	H4	H5
P1橋脚	G1桁	104	616	280	305	135
	G2桁	149	571	320	270	130
	G3桁	104	616	280	305	135

		L1	L2	L3	L4
P1橋脚	G1桁	350	300	400	350
	G2桁	360	260	420	360
	G3桁	350	300	400	350

		H1	H2	H3	H4	H5
P2橋脚	G1桁	104	616	280	305	135
	G2桁	149	571	320	270	130
	G3桁	104	616	280	305	135

		L1	L2	L3	L4
P2橋脚	G1桁	350	300	400	350
	G2桁	360	260	420	360
	G3桁	350	300	400	350



材 料

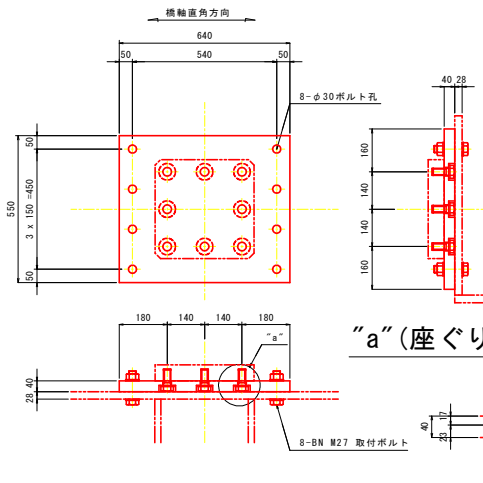
製作数 : 6

※ 1-Top PL 664x28x 1800 (SM490YB)
 ※ 1-Base PL 720x36x 1800 (SM490YB)
 ※ 1-Fig PL 250x22x 1800 (SM490YB)
 ※ 6-Rib PL 652x22x 649 (SM490YB)

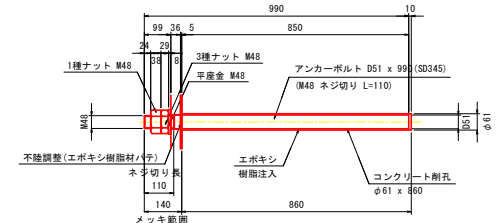
※ 10-D51 x 990 (SD345)
 ※ 10-Nut M48 (1種)
 ※ 10-Nut M48 (3種)
 ※ 10-Washer M48

※ 1-調整 PL 550x40x 640 (SM490YB)
 ※ 8-BN M27 x 110 (Z-W付) (強度区分 8.8)

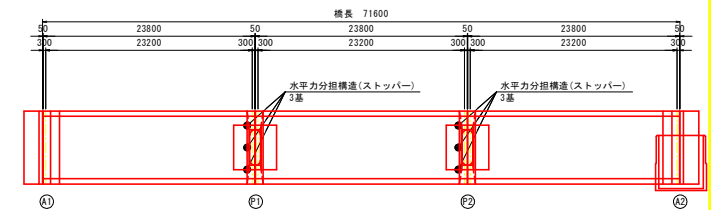
調整プレート



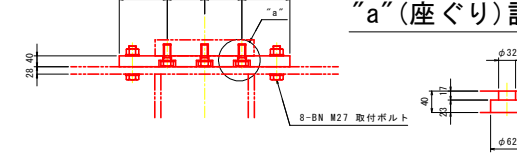
アンカーボルト詳細



配置図 S=1:300



"a" (座ぐり) 詳細図 S=1:5



注記

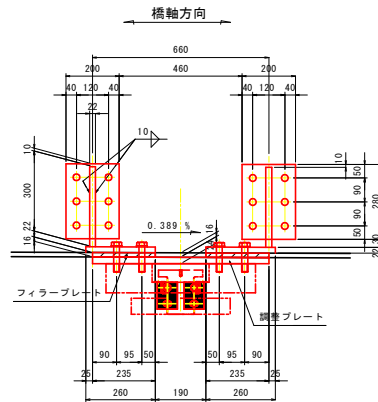
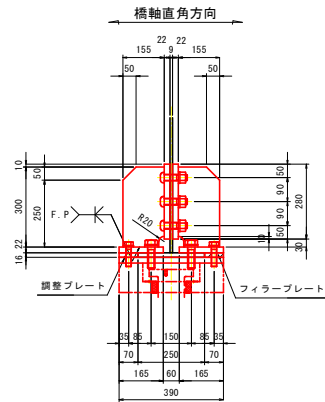
- 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカーラップは全て40Rとする。
- 寸法のないK形溶接の表示ある箇所は、完全溶込み溶接を用いること。
- アンカーボルトを配置する際には鉄筋探索を行い、既設部の鉄筋に干渉しないように注意すること。
- 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上、施工を行うこと。
- 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
- ※印の部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ177とする。ただし、ボルト・ナットの付着量は HDZ149とする。

当初設計図面

工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋)
路線名等	海・相川 橋梁耐震補強工事 (一) 上皆津奥浦線
工事箇所	海部郡海陽町相川 (日浦橋)
図面名	水平力分担構造詳細図(その2)
縮尺	図示 図面番号 13 / 26
会社名	
事業者名	徳島県美波県土整備事務所

水平力分担構造詳細図(その3) S=1:10

P1, P2橋脚 起点側 上部エブラケット

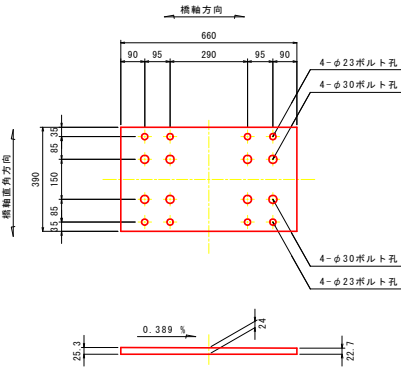


フィラープレート

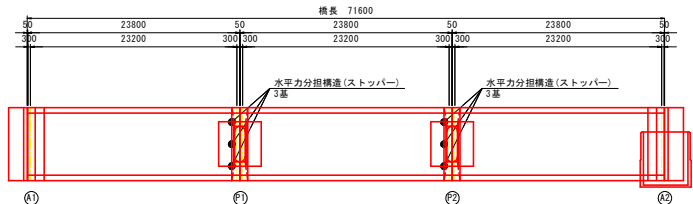
材 料

- 製作数 : 6
- ※ 4-Web PL 200x22x 280
 - ※ 4-Rib PL 155x22x 300
 - ※ 4-Fig PL 165x22x 260
 - ※ 4-Fill PL 70x16x 235 (SS400)
 - ★ 12-TCB M22 x 90 (S10T)
 - ※ 1-調整 PL 390x28x 660 (SS400)

調整プレート



配置図 S=1:300



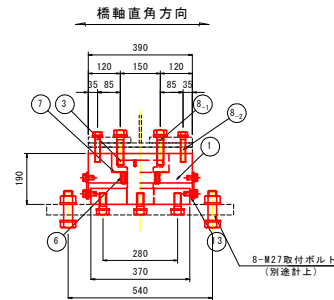
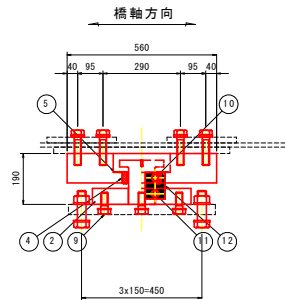
- 注記
- 特記なき鋼材の材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全て40Rとする。
 - 印はトルシア型高力ボルトM22(S10T)を示す。
 - 新規部材のボルト孔はφ26.5とし、既設部材への現場孔明けはφ24.5とする。
 - 寸法のないV形溶接の表示ある箇所は、完全溶込み溶接を用いること。
 - 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上、施工を行うこと。
 - 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 - ※印の部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ777とする。ただし、ボルト・ナットの付着量はHDZ749とする。
 - ☆印のTCB M22(S10T)は、メッキ塗装とする。

当初設計図面

工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋)
路線名等	海・相川 橋梁耐震補強工事
工事箇所	(一) 上皆津奥浦線
図面名	水平力分担構造詳細図(その3)
縮 尺	図示 図面番号 14 / 26
会社名	
事業者名	徳島県美波県土整備事務所

P1, P2橋脚 起点側

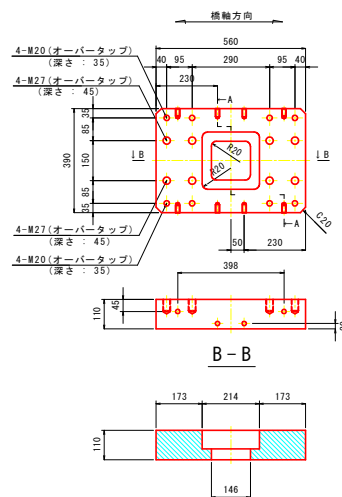
取付詳細図



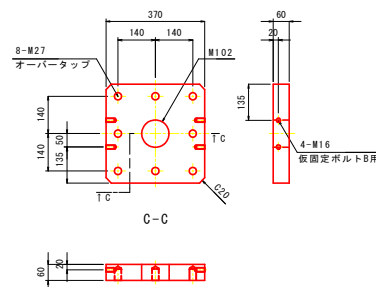
材料表(ストッパー1基当たり)

部 番	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
1	ソールプレート	N1100-固定	個	1	SM400A:重鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	N1100用	個	1	SM400A:重鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	N1100用	本	1	SCW435相当品;ダクロライズド処理,DMコート
4	バッファーA	N1100用	個	2	クロフレンゴム
5	バッファーガイドA	N1100用	個	2	スロ
6	バッファーB	N1100用	個	2	クロフレンゴム
7	バッファーガイドB	N1100用	個	2	スロ
8-1	セットボルト(上側) ※	M27 x 115 1W,15W付	組	8	強度区分8.8:重鉛めっき(HDZ149)
8-2	セットボルト(上側) ※	M20 x 100 1W,15W付	組	8	強度区分8.8:重鉛めっき(HDZ149)
9	セットボルト(下側) ※	M27 x 65 1W付	組	8	強度区分8.8:重鉛めっき(HDZ149)
納入使用部材 (参考)					※ボルトの首下長は、締め付ける距離を確認の上決定すること。
10	仮固定ボルトA				
11	仮固定ボルトB				
12	仮固定プレート				
13	スペーサー				
14	自在型アイボルト				

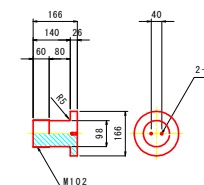
① ソールプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



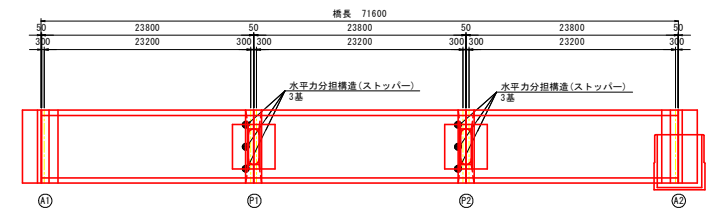
② リミットピンプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



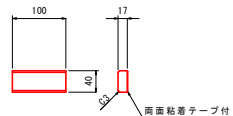
③ リミットピン
(SCM435相当品:DMコート)



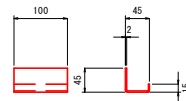
配置図 S=1:300



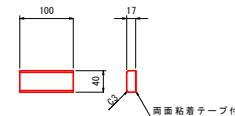
④ バッファ-A S=1:5
(クロロブレンゴム)



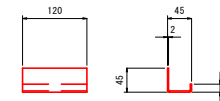
⑤ パッファーガイドA S=1:5
(SUS)



⑥ バッファ-B S=1:5
(クロロプレンゴム)



⑦ パッファーガイドB S=1:5
(SUS)



注記

1. ストッパーの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂パテ材または樹脂ボルトで埋めること。
4. 吊り金具は、自在型アイボルト（M16）を1物件当たり8個付属する。

当初設計図面

工事名	R8 波土上流津奥浦橋(日浦橋) 海・相川橋梁施設強化工事		
路線名等	(一)上津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川(日浦橋)		
図面名	水平力分担構造詳細図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	15/26
会社名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

P1, P2橋脚 終点側 下部エブラケット

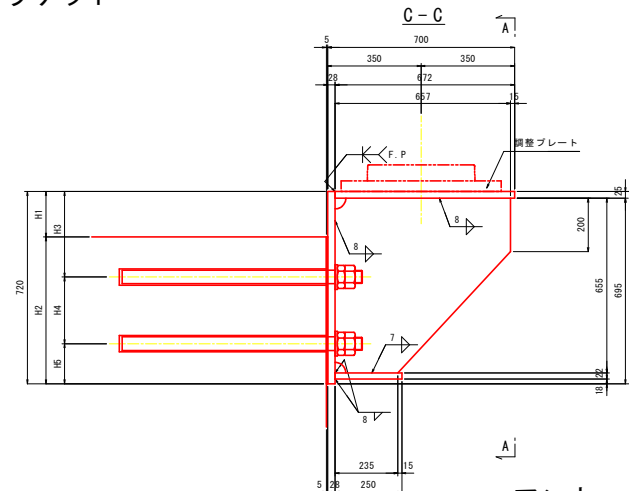


Figure 6-10 illustrates the construction details for a wall-to-ceiling joint. The diagram shows a cross-section of a concrete wall and ceiling slab. Key components and dimensions are labeled:

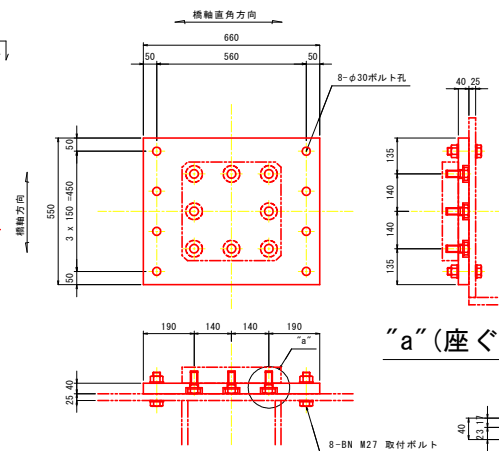
- Anker Bolt:** D51 x 900 (SD345), secured with M48 nuts and washers.
- Flat Plate:** M48, used to connect the anchor bolt to the ceiling slab.
- Bracket:** エボキシ樹脂材(パテ) (Epoxy resin material/paste) used for sealing the joint.
- Dimensions:**
 - Total length: 900
 - Wall thickness: 765
 - Ceiling slab thickness: 102
 - Various offset dimensions: 10, 5, 28, 102, 20, 2, 135, 110, 135, 775, 61, 25, 110, 135, 775.

		L1	L2	L3	L4
P2橋脚	G1桁	350	400	300	350
	G2桁	360	420	260	360
	G3桁	350	400	300	350

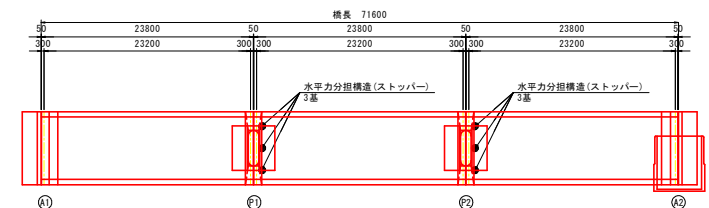


- ※ 10-D51 x 900(SD345)
- ※ 10-Nut M48(1種)
- ※ 10-Nut M48(3種)
- ※ 10-Washer M48

調整プレート



"a" (座ぐり) 詳細図 S=1:5



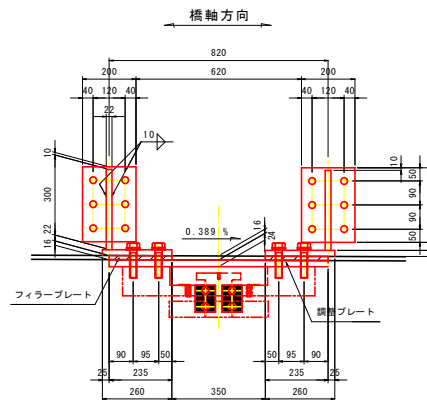
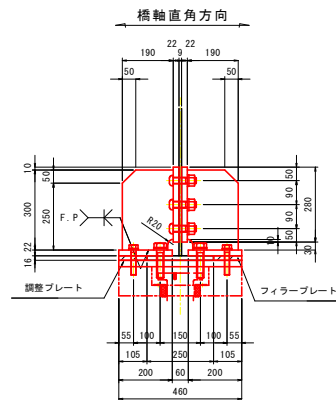
配置図 S=1:300

1. 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーフ材は全て40Rとする。
3. 寸法のないK形溶接の表示ある箇所は、完全溶込み溶接を用いること。
4. アンカーボルトを配置する際には鉄筋探査を行い、既設筋の鉄筋に干渉しないよう注意すること。
5. 既設構造物の寸法は現地に再計測の上、施工を行うこと。
6. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めて行うこと。
7. ※形の部材は、完全溶融溶接給メッキとする。
付着量は、JIS H 8641 H02T77とする。
ただし、ホルト・ねっぴの付着量は H02T49とする。

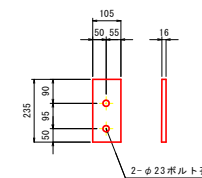
工事名	R8 波土 上皆津奥浦橋 (日浦橋) 海・(梧川) 橋梁前東浦橋工事		
路線名等	(一) 上皆津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町日浦 (日浦橋)		
図面名	水平力分担構造詳細図 (その5)		
縮尺	図示	図面番号	16 / 26
会社名			
事業者名	徳島県美波波土整備事務所		

水平力分担構造詳細図(その6) S=1:10

P1, P2橋脚 終点側 上部エブラケット



フィラープレート

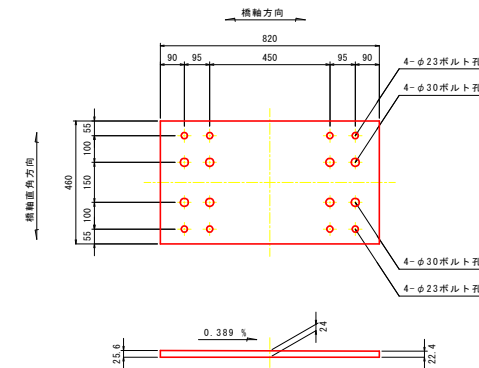


材 料

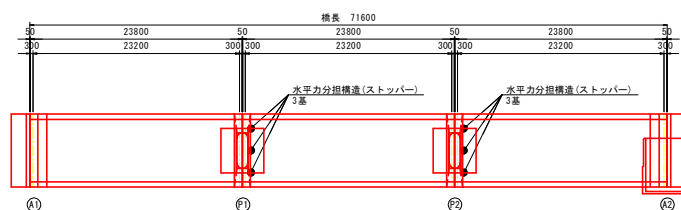
製作数 : 6

- ※ 4-Web PL 200x22x 280
- ※ 4-Rib PL 190x22x 300
- ※ 4-Flg PL 200x22x 260
- ※ 4-Fill PL 105x16x 235 (SS400)
- ☆ 12-TCB M22 x 90 (S10T)
- ※ 1-調整 PL 460x28x 820 (SS400)

調整プレート



配置図 S=1:300



注記

- 特記なき鋼材の材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは全て40Rとする。
- 印はトルシア型高力ボルトM22 (S10T)を示す。
- 新規部材のボルト孔はφ26.5とし、既設部材への現場孔明けはφ24.5とする。
- 寸法のないV形溶接の表示ある箇所は、完全溶込み溶接を用いること。
- 既設構造物の寸法は現地に再計測の上、施工を行うこと。
- 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
- ※印の部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。ただし、ボルト・ナットの付着量はHDZ149とする。
- ☆印のTCB M22 (S10T)は、メッキ塗装とする。

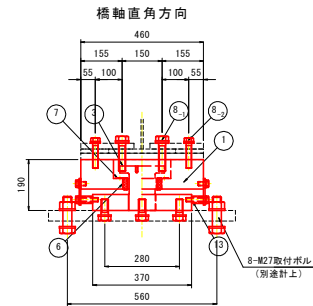
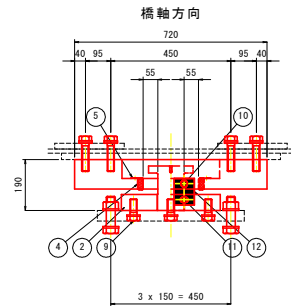
当初設計図面

工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋)
路線名等	海・相川 橋梁耐震補強工事
工事箇所	(一) 上皆津奥浦線
図面名	水平力分担構造詳細図(その6)
縮尺	図示 図面番号 17 / 26
会社名	
事業者名	徳島県美波県土整備事務所

水平力分担構造詳細図(その7) S=1:10

P1, P2橋脚 終点側

取付詳細図

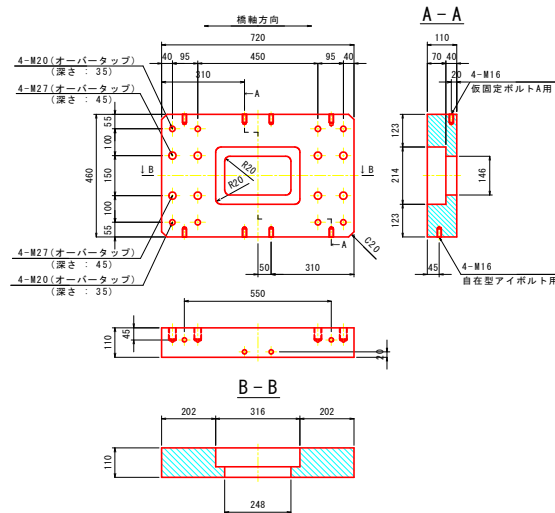


材料表 (ストッパー1基当たり)

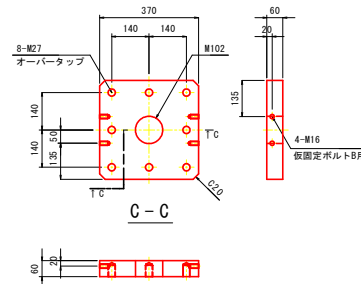
全6基

部番	名 称	規 格	単位	数量	備 考
1	ソールプレート	N1100-55	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	N1100用	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	N1100用	本	1	SCM435相当品:ダクロタイズ処理,DMコート
4	バッファA	N1100用	個	2	クロロレンゴム
5	バッファAガイドA	N1100用	個	2	SUS
6	バッファB	N1100用	個	2	クロロレンゴム
7	バッファAガイドB	N1100用	個	2	SUS
8-1	セットボルト(上側)	M27 x 115 1W, 1SW付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZT49)
8-2	セットボルト(下側)	M20 x 100 1W, 1SW付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZT49)
9	セットボルト(下側)	M27 x 65 1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZT49)
納入時用部材 (参考)					
10	仮固定ボルトA				
11	仮固定ボルトB				
12	仮固定プレート				
13	スパーサー				
14	自在型アイボルト				

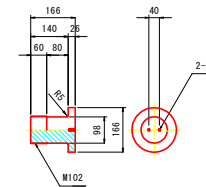
① ソールプレート (SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



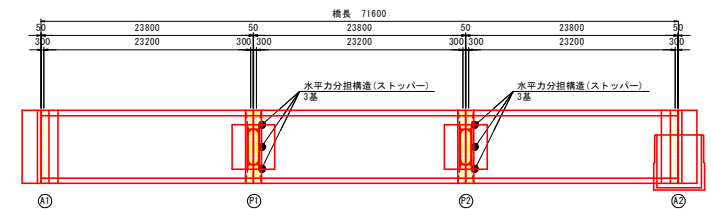
② リミットピンプレート (SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



③ リミットピン (SCM435相当品:DMコート)



配置図 S=1:300



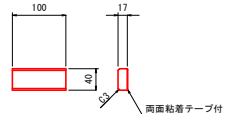
注記

- ストッパーの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
- 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さに設置すること。
- 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂パテ材または樹脂ボルトで埋めること。
- 吊り金具は、自在型アイボルト (M16) を1物件当たり8個付属する。

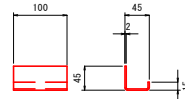
当初設計図面

工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋) 海・相川 橋梁耐震補強工事
路線名等	(一) 上皆津奥浦線
工事箇所	海部郡海陽町相川 (日浦橋)
図面名	水平力分担構造詳細図(その7)
縮尺	図示 図面番号 18 / 26
会社名	
事業者名	徳島県美波県土整備事務所

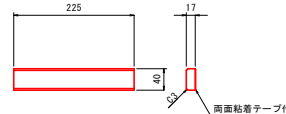
④ バッファA (クロロレンゴム) S=1:5



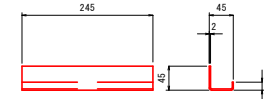
⑤ バッファAガイドA (SUS) S=1:5



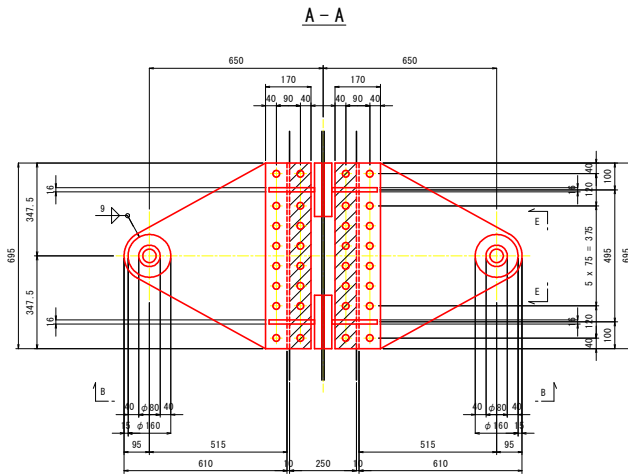
⑥ バッファB (クロロレンゴム) S=1:5



⑦ バッファAガイドB (SUS) S=1:5



水平分担構造 A2橋台 G1桁, <G2桁>, G3桁

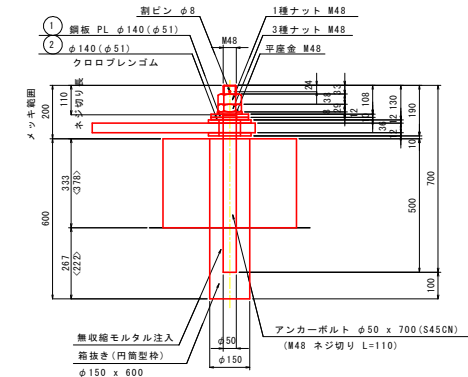


材 料

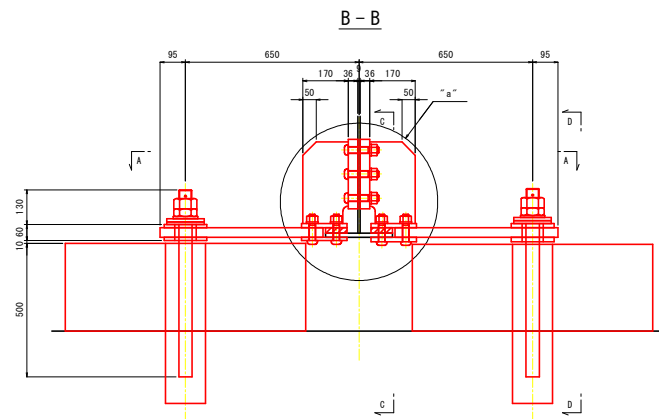
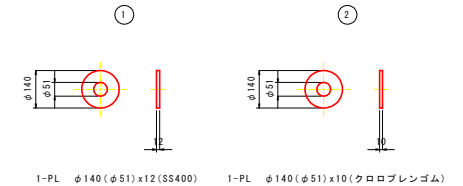
製作数 : 3

※ 2-Top PL 610x36x 695 (SM400B)	※ Z-型型ピン φ50 x 700 (S45CN)
※ 4-Cov PL 160x16	※ 2-Nut M48 (SS400) (1種)
※ 4-Spl PL 170x16x 695	※ 2-Nut M48 (SS400) (3種)
※ 2-Fill PL 80x20x 695 (SS440)	※ 2-Washer M48 (SS400)
☆ 32-CB M22 x 105 (S10T)	※ 2-副ピン φ8 x 80 (SSWR8)
※ 4-Web PL 220x36x 260 (SM400B)	① ※ 2-PL φ140 (φ51) x 12 (SS400)
※ 4-Rib PL 170x16x 305	② ※ 2-PL φ140 (φ51) x 10 (クロムブレングム)
☆ 12-CB M22 x 120 (S10T)	

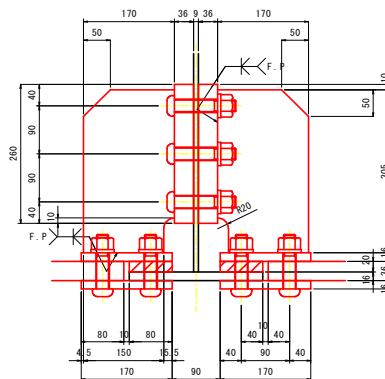
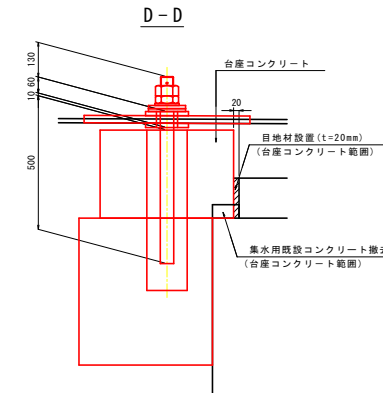
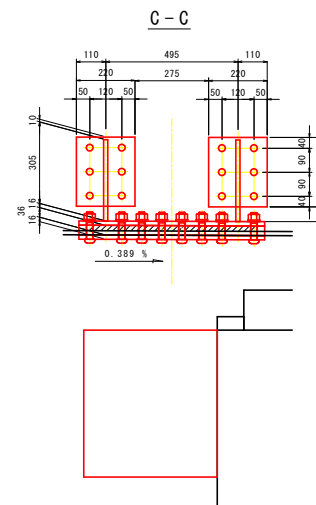
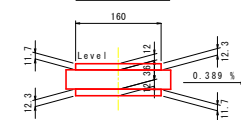
アンカーボルト詳細



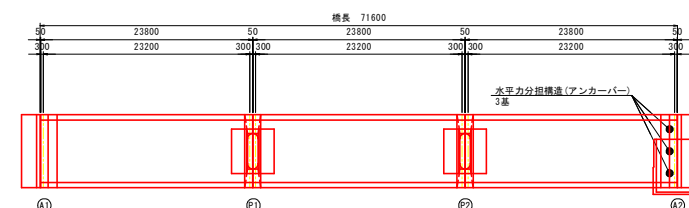
① ②詳細図



“a”部詳細図 S=1:5


$$\frac{E - E}{S=1:5}$$


配置図 S=1:300



注記

- ① 特記な資材費は全てSM400Aとする。
- ② 特記な足スカーリングは全て40Rとする。
- ③ 新規はルシダ型高力ポルトM22(S10T)を示す。
- ④ 現況掘削ポルトは ϕ 25.5とし、既設部材への現場へ埋め付けは ϕ 24.5とする。
- ⑤ 寸法のないK形溶接の表示ある箇所は、完全溶込み溶接とを用いること。
- ⑥ 既設構造物の寸法は現地ににて再計測の上、施工を行うこと。
- ⑦ 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めから行うこと。
- ⑧ 寸法の部材は、全て溶接部材とメッキとする。
- ⑨ 付着量は、JIS H 8641 M22H777とする。
- ⑩ 2nd、ポルト・ナットの付着量は、M22H429とする。
- ⑪ 鋼のGB M22(S10T)は、メッキ塗装とする。

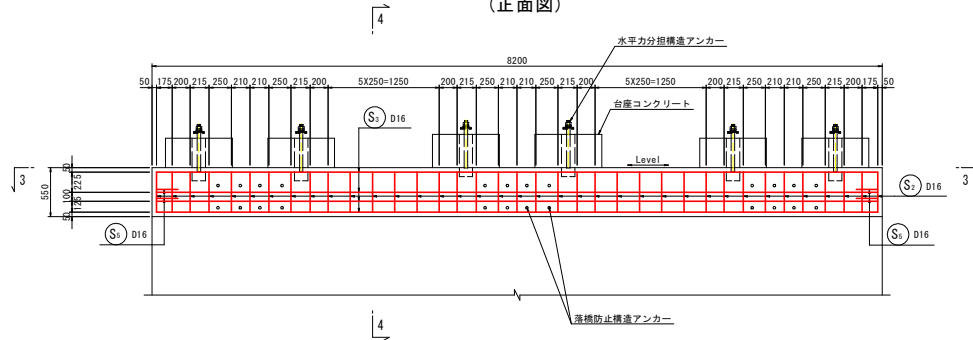
当初設計図面

工事名	R8 波士上皆津奥浦橋（日浦橋） 海・相川 橋梁架設・橋脚工事		
路線名等	（一）上皆津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川（日浦橋）		
図面名	水平力分担構造詳細図（その8）		
縮尺	図示	図面番号	19/26
会社名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

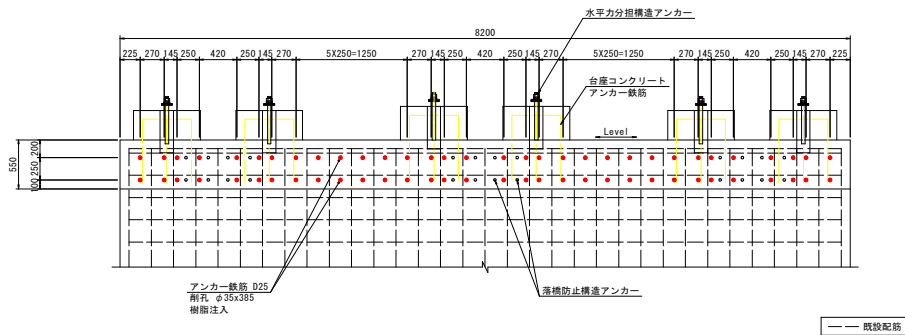
沓座拡幅配筋図(その1) S=1:30

A1橋台

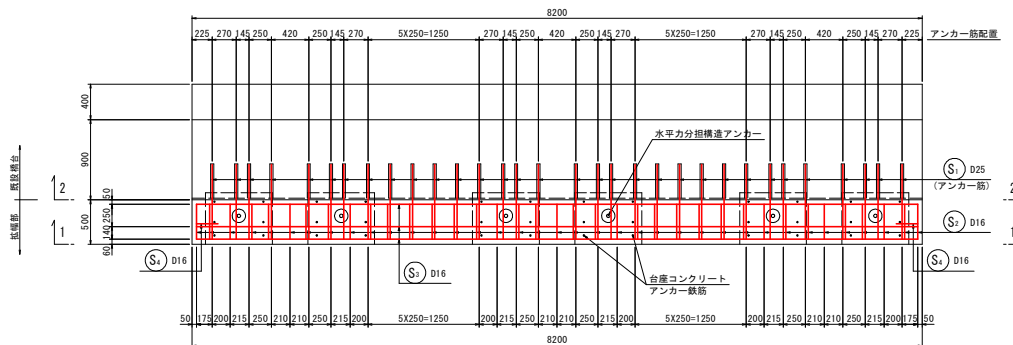
1-1
—
(正面图)



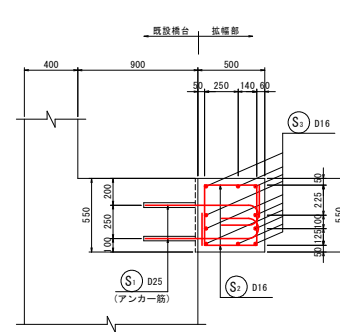
2-2
(アンカー削孔位置)



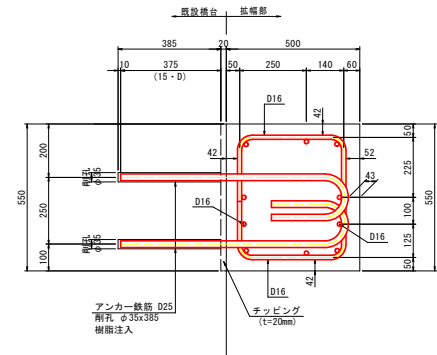
3-3
(平面图)



4-4 S=1:20
(断面图)



かぶり詳細図 S=1:10

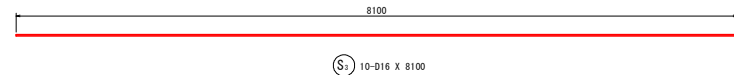
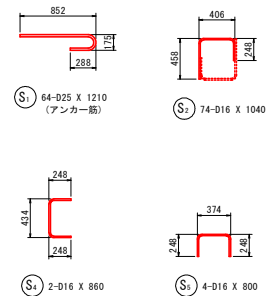


鉄筋質量表 (SD345)

種 別	保	長 さ	本 数	単 位 質 量	一 本 当 り 質 量	質 量	摘 要
S 1	D25	1210	64	3.98	4.82	308	F
S 2	D16	1040	74	1.56	1.62	120	
S 3	D16	8100	10	1.56	12.64	126	F
S 4	D16	860	2	1.56	1.34	3	
S 5	D16	800	4	1.56	1.25	5	F
562							
合 計				D25	308 kg		
				D16	254 kg		
総質量				562 kg			

注記

- ※コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N}/\text{mm}^2$ とする。
- ※施工に先立ち現地実測を行い形状決定を行うこと。
- ※既設コンクリートへの削孔の際は鉄筋探査を実施して既設鉄筋を切断しないように十分注意をすること。
- ※現地でアンカー筋の配置位置を変更する場合、有効高が高くなる方向に変更すること。
- ※コンクリート鉄筋の定着は既設面より軸方向に15・D以上を確保すること。
- ※コンクリート打設後、ひび割れが顕著な発生を行うこと。
- ※φの削孔径は、定着径+10mm程度とする。
- ※落橋防止構造用のアンカー筋の配置位置を変更する場合、脊座幅幅内の配筋の位置を適宜調整すること。

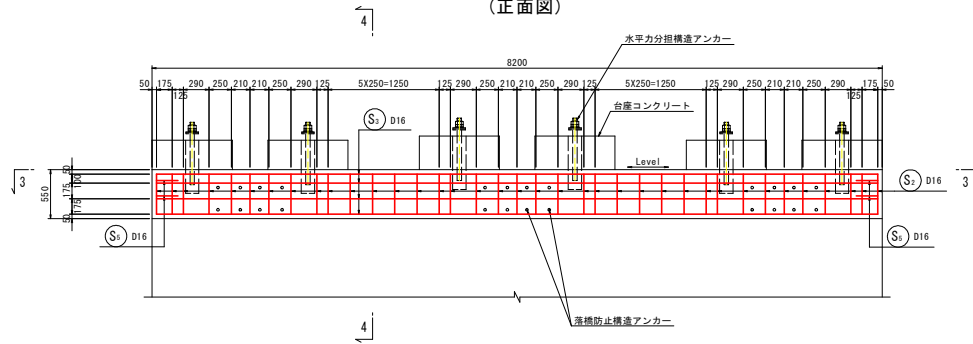


当初設計図面

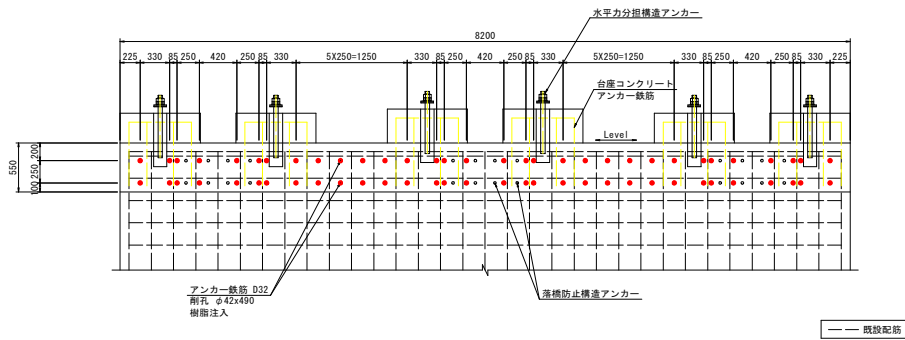
工 事 名	R8 波土上皆津奥浦線（日浦橋） 海・相川 橋梁耐震補強工事		
路線名等	（一）上皆津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川（日浦橋）		
図 面 名	畜産広幅配筋図（その1）		
縮 尺	図示	図面番号	20 / 26
会 社 名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

沓座拡幅配筋図(その2) S=1:30

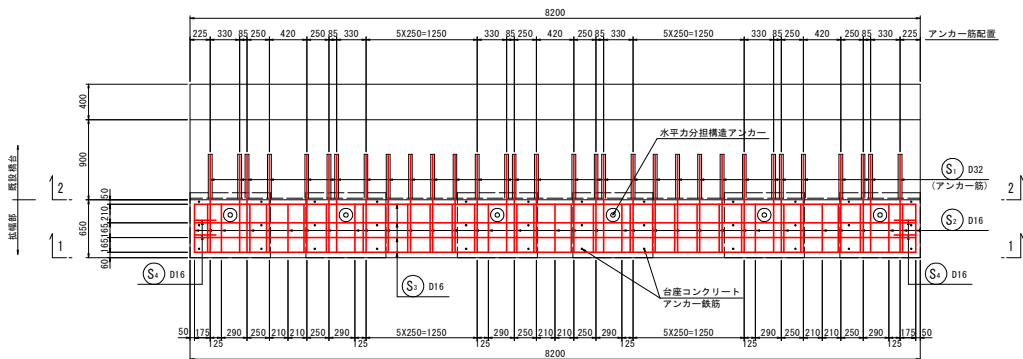
A2橋台

$$\frac{1-1}{\text{(正面图)}}$$


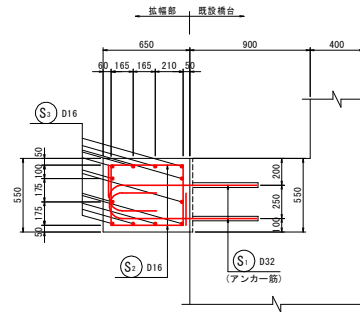
2-2
(アンカー削孔位置)



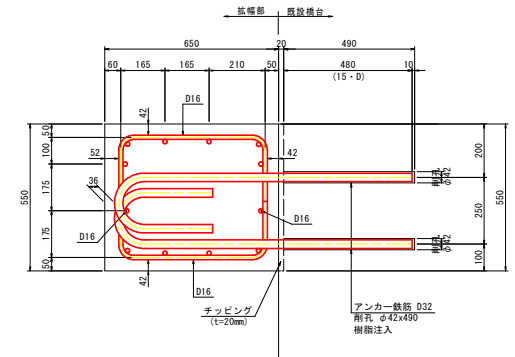
3-3
(平面图)



4-4 S=1:20
(断面图)



かぶり詳細図 S=1:10

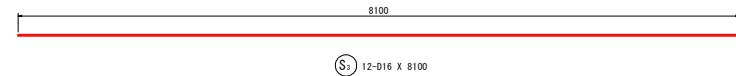
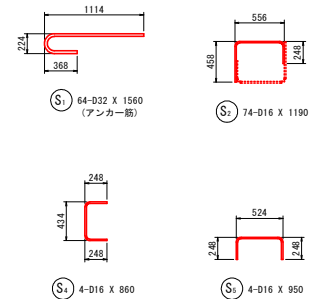


鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S 1	D32	1560	64	6.23	9.72	622	
S 2	D16	1190	74	1.56	1.86	138	
S 3	D16	8100	12	1.56	12.64	152	
S 4	D16	960	4	1.56	1.34	5	
S 5	D16	950	4	1.56	1.48	6	
						923	
合 計				D32	622 kg		
				D16	301 kg		
総質量				923 kg			

注記

- ※コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。
- ※施工に先立ち地盤実測を行い形状決定を行うこと。
- ※既設コンクリートへの削孔の際は鉄筋検査を実施して既設鉄筋を切断しないように十分注意すること。
- ※現地でアンカーボルトの配置位置を変更する場合、有効高が高くなる方向に変更すること。
- ※アンカーボルトの両端は既設橋台面より軸方向に15・D以上を確保すること。
- ※コンクリート打設後、十分な養生を行うこと。
- ※削孔径は、鉄筋径+10mm程度とすること。
- ※落橋防止構造のアンカーボルトの配置位置を変更する場合、寄座枠内への配力筋の位置を適宜調整すること。



当初設計図面

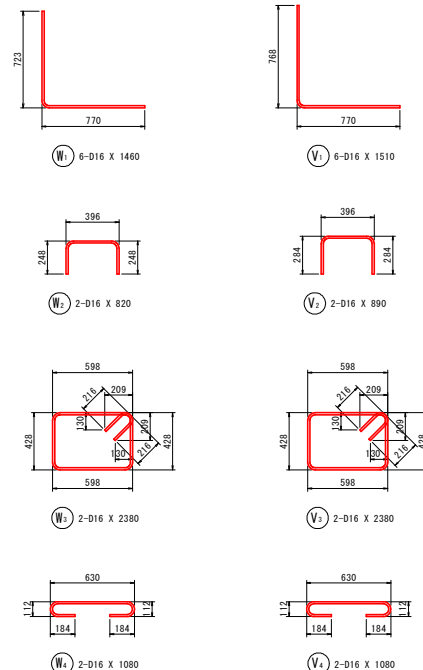
工 事 名	R8波土上津波津浦線(日清橋) 海・相川 橋梁新築工事		
路線名等	(一)上皆津美浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川(日清橋)		
図 面 名	資産拡幅配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	21 / 26
会 社 名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

A1橋台

[illegible]

G2
(N=2 方所)

Technical drawing of a G2 valve (N=2 ports) showing dimensions and port locations. The drawing includes a top view and a side view. The top view shows a central valve body with two ports, V1 and V2, and a dimension of 750 mm for the overall width. The side view shows the valve body with a dimension of 550 mm for the overall height. The drawing is labeled 'G2' and '(N=2 方所)'.

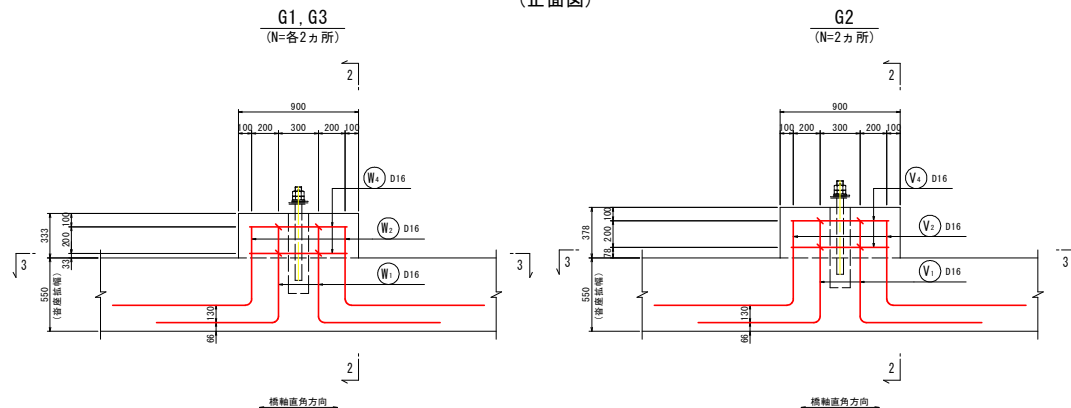


「本図面は新JISA0101(2012)に基づき作成した図面である」(外形寸法)

A2橋台

1-1

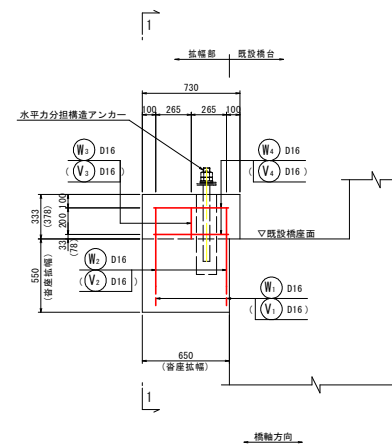
(正面図)



注) 端部の台座コンは、主鉄筋を同一方向(橋台中心方向)に曲げること。

2-2

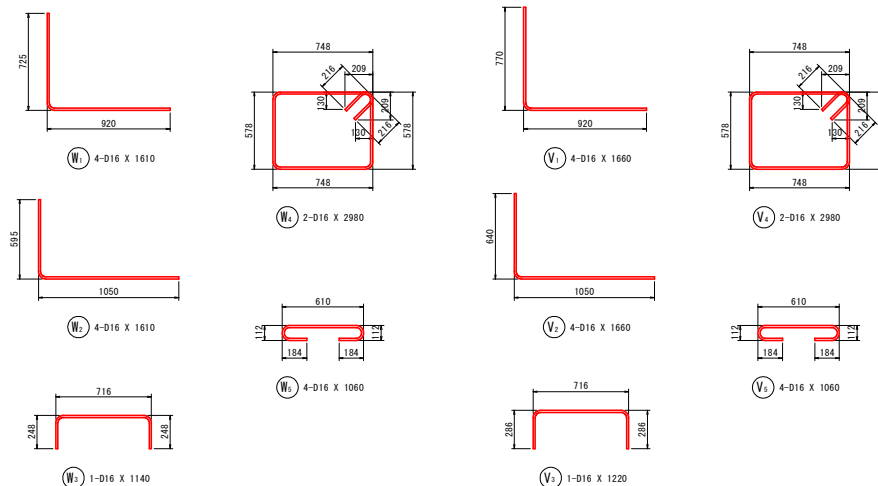
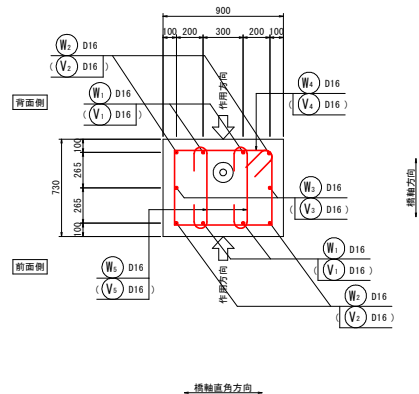
(側面図)



	G1	G2	G3
台座高 (H)	333	378	333

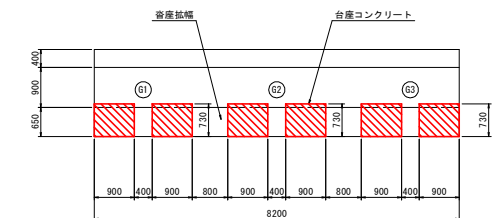
3-3

(断面図)



注) 加工図数量は、台座コンクリート1基当り

配置図 S=1:100



鉄筋質量表 (SD345)

種 別	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	一本当り質量	質 量	摘 要
Ⅴ ₁	D16	1610	4	1.56	2.51	10	
Ⅴ ₂	D16	1610	4	1.56	2.51	10	
Ⅴ ₃	D16	1140	1	1.56	1.78	2	
Ⅴ ₄	D16	2980	2	1.56	4.65	9	
Ⅴ ₅	D16	1060	4	1.56	1.65	7	
							38
(台座コン1カ所当り)				(1機台(4カ所)当り)			
合 計 D16				38 kg		152 kg	
総質量				38 kg		152 kg	
Ⅴ ₁	D16	1660	4	1.56	2.59	10	
Ⅴ ₂	D16	1660	4	1.56	2.59	10	
Ⅴ ₃	D16	1220	1	1.56	1.90	2	
Ⅴ ₄	D16	2980	2	1.56	4.65	9	
Ⅴ ₅	D16	1060	4	1.56	1.65	7	
							38
(台座コン1カ所当り)				(1機台(2カ所)当り)			
合 計 D16				38 kg		76 kg	
総質量				38 kg		76 kg	

注記

※コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。

※施工に先立ち現地実測を行い形状決定を行うこと。

※コンクリート打設後、十分な養生を行うこと。

当初設計図面

工事名	R8 波土上皆津奥海線(日海橋) 海・相川橋梁耐震補強工事
-----	----------------------------------

路線名等	(一) 上皆津奥浦線
------	------------

工事箇所	海部郡海陽町相川（日浦橋）
------	---------------

工事箇所	海部郡海陽町柏川（白川橋）
図面名	台座コンクリート配筋図（その2）

縮尺	図示	図面番号	23 / 26
----	----	------	---------

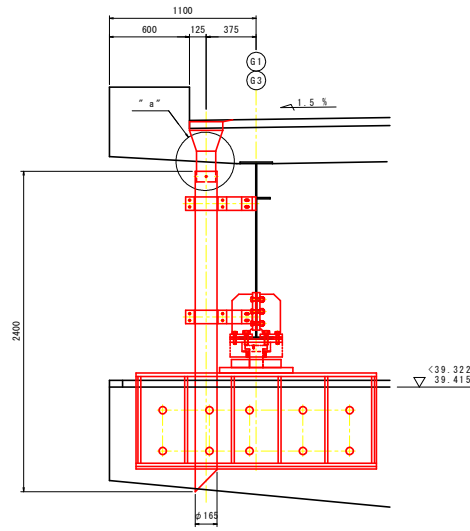
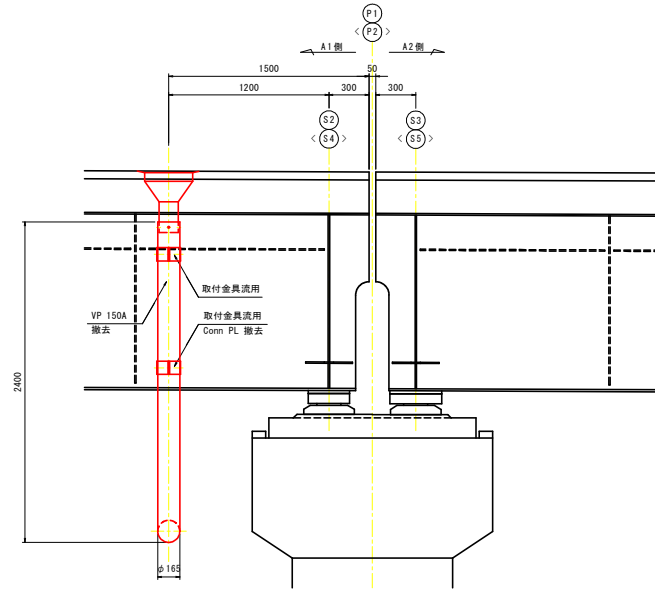
船 名	西 水	西 水 番 号	20 / 20
会 社 名			

事業者名	徳島県美波県土整備事務所
------	--------------

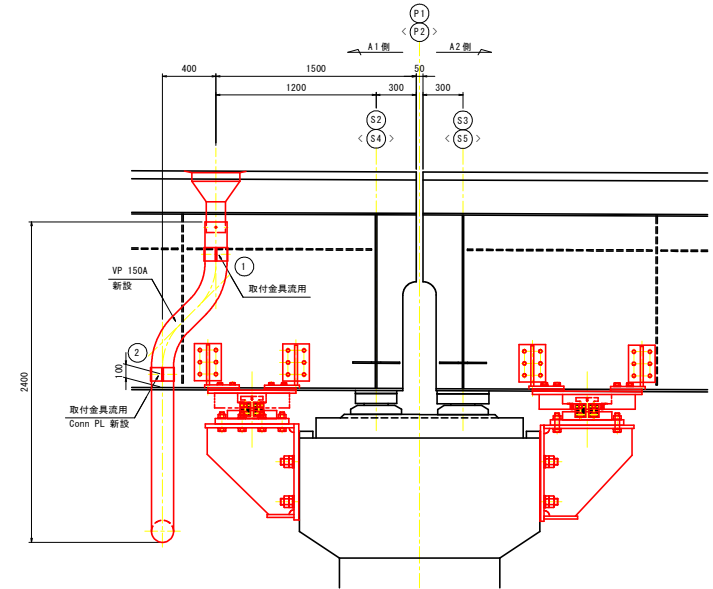
既設構造改良図(その1) S=1:20

P1橋脚, <P2橋脚>

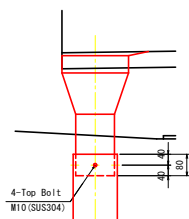
現 状



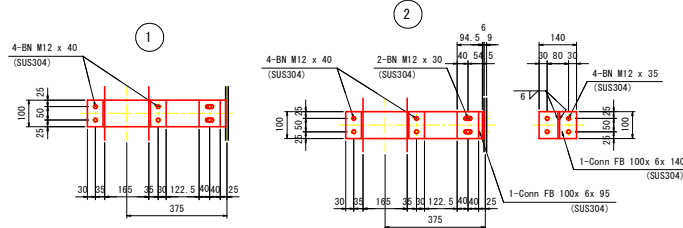
改良後



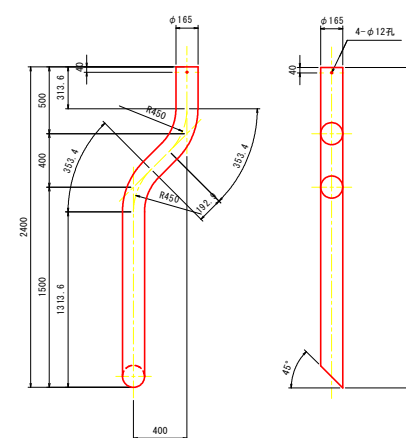
” a ” 部詳細図 S=1:10



” 取付金具詳細図 S=1:10



新設排水管詳細図



撤去材料

製作数 : 2<2>

1-VP 150A x 2400
1-Conn FB 100x 6x 101 (SUS304)
4-Top Bolt M10 x 25 (SUS304)
8-BN M12 x 40 (SUS304)
2-BN M12 x 30 (SUS304)

新設材料

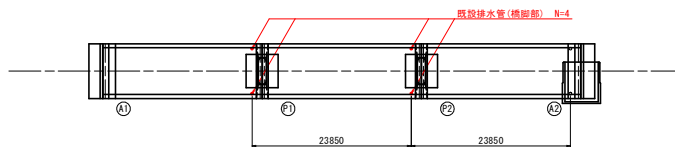
製作数 : 2<2>

1-VP 150A x 2527
1-Conn FB 100x 6x 95 (SUS304)
1-Conn FB 100x 6x 140 (SUS304)
4-Top Bolt M10 x 25 (SUS304)
8-BN M12 x 40 (SUS304)
4-BN M12 x 35 (SUS304)
2-BN M12 x 30 (SUS304)

位置図 S=1:400

至 上皆津

至 奥浦



注記

- 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
- 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上、施工を行うこと。

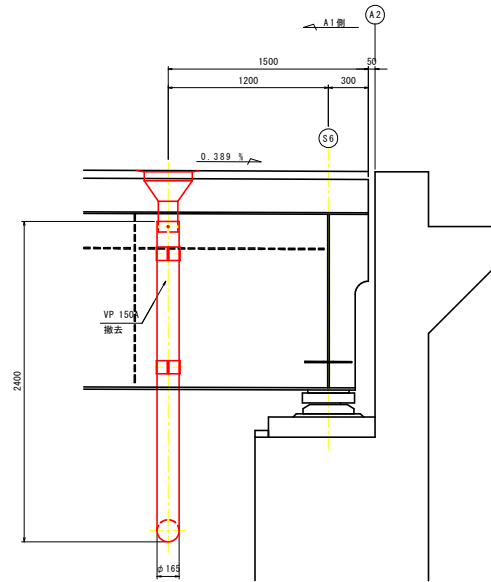
当初設計図面

工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋) 海・相川 橋梁耐震補強工事		
路線名等	(一) 上皆津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川 (日浦橋)		
図面名	既設構造改良図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	24 / 26
会社名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

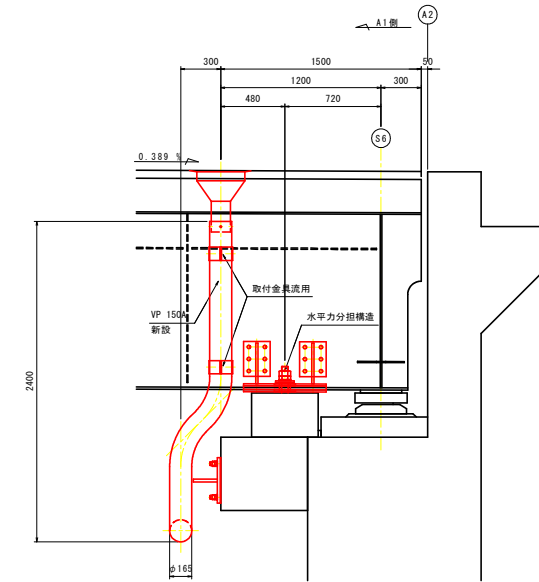
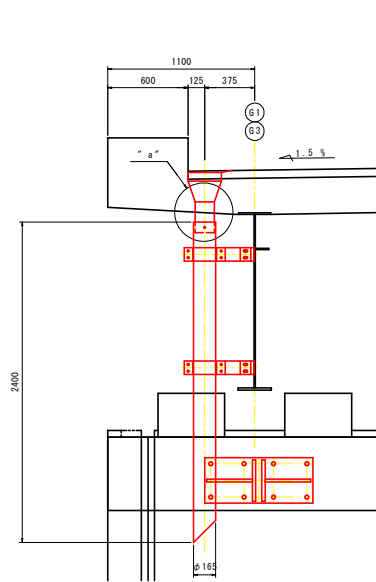
既設構造改良図(その2) S=1:20

A2橋台

現 状



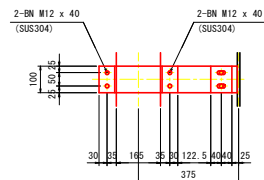
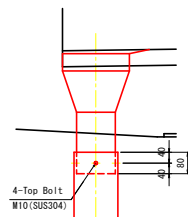
改良後



” a ” 部詳細図 S=1:10

” 取付金具詳細図 S=1:10

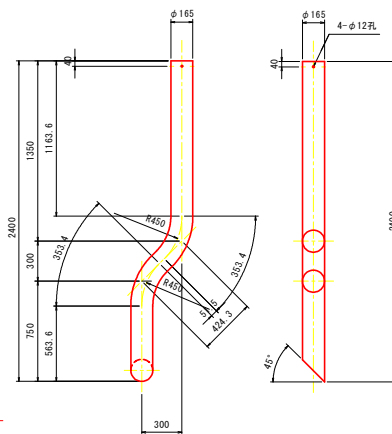
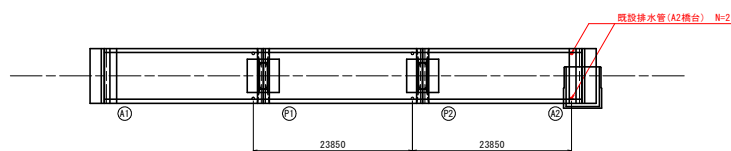
新設排水管詳細図



位置図 S=1:400

至 上皆津

至 奥浦



撤去材料

撤去数 : 2

1-VP 150A x 2400
4-Top Bolt M10 x 25 (SUS304)
8-BN M12 x 40 (SUS304)

新設材料

製作数 : 2

1-VP 150A x 2486
4-Top Bolt M10 x 25 (SUS304)
8-BN M12 x 40 (SUS304)

注記

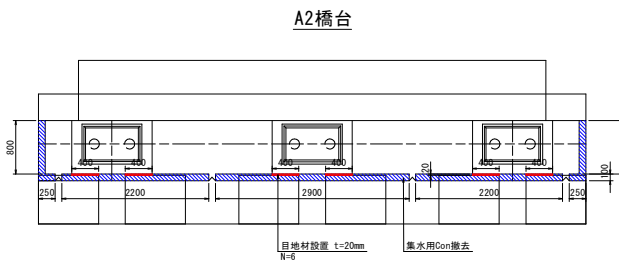
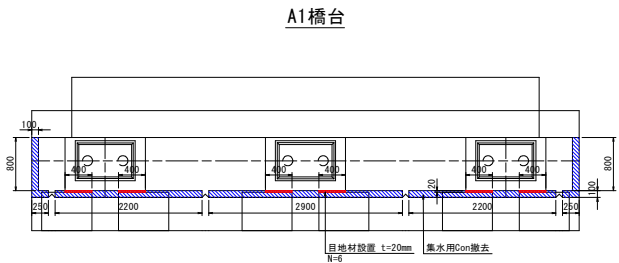
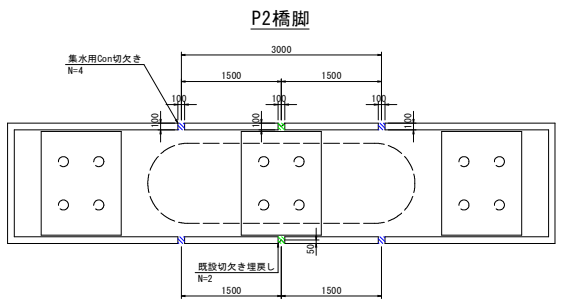
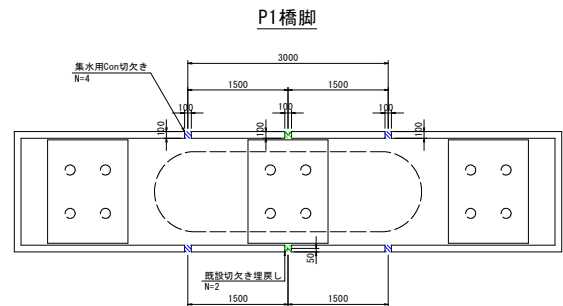
- 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
- 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上、施工を行うこと。

当初設計図面

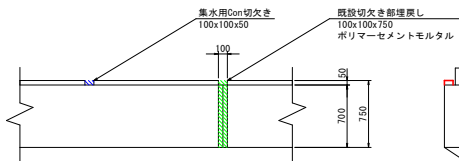
工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋) 海・相川 橋梁耐震補強工事		
路線名等	(一) 上皆津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川 (日浦橋)		
図面名	既設構造改良図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	25 / 26
会社名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

既設構造改良図(その3) S=1:40
桁受け水切り処理

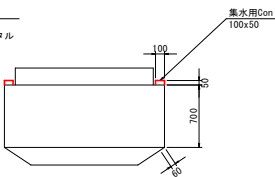
平面図



正面図 S=1:30



断面図 S=1:30



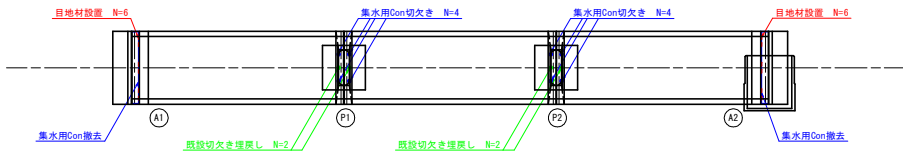
	単位	P1橋脚	P2橋脚	計
集水用Con切欠き	m2	0.040	0.040	0.080
	m3	0.002	0.002	0.004
既設切欠き埋戻し	m2	0.150	0.150	0.300
	m3	0.005	0.005	0.010

断面図 S=1:50



	単位	A1橋台	A2橋台	計
集水用Con撤去	m2	0.940	0.940	1.880
	m3	0.047	0.047	0.094
目地材設置	m	2.400	2.400	4.800

位置図 S=1:300



至 奥浦

注記
1. 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上、施工を行うこと。

当初設計図面			
工事名	R8波土 上皆津奥浦線(日浦橋) 海・相川 橋梁耐震補強工事		
路線名等	(一) 上皆津奥浦線		
工事箇所	海部郡海陽町相川(日浦橋)		
図面名	既設構造改良図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	26 / 26
会社名	徳島県美波県土整備事務所		
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		